秋田県文化財調査報告書第511集

遺跡詳細分布調査報告書

2018 • 3

秋田県教育委員会

遺跡詳細分布調査報告書

2018 · 3

秋田県教育委員会

本県には、これまでに発見された約5,000か所の遺跡をはじめとして、 先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文 化財は、地域の歴史や伝統を理解し、地域の文化力を高め交流の活性化 を図るうえで、欠くことのできないものであります。

一方、県内道路網や河川の整備など、豊かで快適な生活を築くための 地域開発が大規模に行われ、埋蔵文化財保護との調和を図ることが急務 となっております。遺跡分布調査と遺跡確認調査はそのための基礎資料 となるものです。

本報告書は、平成29年度に国庫補助事業として実施した、国道建設事業、河川改修事業及び主要地方道建設事業などに係る遺跡分布調査と遺跡確認調査の結果をまとめたものです。特に、大館工業団地開発事業に伴う片貝家ノ下遺跡の確認調査では、全国的にも例のない火山泥流に覆われた古代家屋の屋根を地中レーダーで捉えられることが判明し、遺跡の保存活用にとって重要な手がかりとなる地中のデータが得られました。

報告書をまとめるにあたり、調査に協力いただきました関係各機関に 感謝申し上げるとともに、今後とも埋蔵文化財の保護につきまして御理 解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成30年3月

秋田県教育委員会

教育長 米 田 進

例 言

- 1 本報告書は、平成29年度に秋田県教育委員会が国庫補助金を得て実施した、遺跡分布調査と遺跡 確認調査の報告書である。なお、本書収録の報告は平成29年4月から12月までの実施分であり、平 成30年1月以降の実施分については来年度に報告する予定である。また、平成28年11月下旬から平 成29年3月に実施した遺跡分布調査の結果報告を平成28年度補足分として掲載した。
- 2 本報告書に収録の遺跡分布調査、遺跡確認調査は、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室、秋田県埋蔵文化財センターの職員が担当した。報告は、遺跡分布調査については秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室が、遺跡確認調査については各調査担当者がそれぞれ作成したものを秋田県埋蔵文化財センターが編集した。
- 3 本報告書に掲載した地図は、国土交通省・秋田県が作成した平面図を使用した他、国土地理院発行の1/25,000地形図、1/50,000地形図、1/25,000電子地形図を複製した(承認番号 平29情複、第1447号)。なお、第3章第1節の地形図には方位記号を付けていないが、全て上が世界測地系第X系座標北を示している。

25,000分の1地形図

50,000分の1地形図

「大曲(平成21年3月21日)第57図」、「六郷(平成15年6月1日)第57図」「浅舞(平成12年1月1日)第58図」、「角館(平成16年6月1日)第59図」

25,000分の1電子地形図

「本荘(平成27年10月19日)第2・20・46図」、「象潟(平成27年10月19日)第3・18図」、「老方(平 成27年10月19日) 第10図」、「森岳(平成27年10月19日) 第15・53図」、「大曲(平成27年10月19日) 第17・33・62図」、「二ツ井(平成27年10月19日)第21・29図」、「鷹巣西部(平成27年10月19日)第 22図」、「中滝(平成27年10月19日)第24図」、「羽後和田(平成27年10月19日)第26.30図」、「下岩川(平 成27年10月19日) 第29・53図」、「羽川(平成27年10月19日) 第30図」、「湯ノ又(平成27年10月19日) 第31図 |、「悪戸野(平成27年10月19日)第33図 |、「八沢木(平成27年10月19日)第33図 |、「角間川 (平成27年10月19日) 第33図 | 、「西馬音内(平成27年10月19日)第34図 | 、「六郷(平成27年10月19日) 第35·63図」、「浅舞(平成27年10月19日)第36図」、「羽後長野(平成27年10月19日)第37·63図」、「角 館(平成27年10月19日)第38•65図 |、「白沢(平成27年10月19日)第39図 |、「大館(平成27年10月19日) 第39図」、「羽後黒沢(平成27年10月19日)第40図」、「田子(平成27年10月19日)第40図」、「下桧木内(平 成27年10月19日) 第41図 |、「刈和野東部(平成27年10月19日) 第42・49図 |、「湯沢(平成27年10月19日) 第43図|、「稲庭(平成27年10月19日)第43・45図|、「矢島(平成27年10月19日)第44図|、「中直根(平 成27年10月19日) 第44・50図 |、「刈和野(平成27年10月19日) 第48・49・55図 |、「小安温泉(平成 27年10月19日) 第51図」、「阿仁前田(平成27年10月19日) 第54図」、「新波(平成27年10月19日) 第55図 |、 「土崎(平成27年10月19日)第56図 |、「秋田西部(平成27年10月19日)第60図 |、「横手(平成27年10 月19日) 第61図」、「田沢湖(平成27年10月19日) 第64図」、「抱返り渓谷(平成27年10月19日) 第64・ 65図|

目 次

序	
例言	
目次	
第1章 はじめに	
第 2 章 実施要項 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1
第1節 遺跡分布調査	1
第2節 遺跡確認調査	
第3章 調査の記録	8
第1節 遺跡分布調査	8
1 平成28年度補足分	
(1) 日本海沿岸東北自動車道(岩城~本荘)	8
(2)国道7号遊佐象潟道路事業	8
(3)地方道路交付金工事(雪寒)国道105号(上桧木内工区)	9
(4)地方道路交付金工事(改築)国道105号(草峠工区)	9
(5)地方道路交付金工事(交通安全)(主)横手東由利線(中山工区)1	10
(6)地方道路等整備工事(建設)(主)大曲大森羽後線(末館工区)	10
(7) 地方道路等整備工事(建設)一般県道矢坂糠沢線(岩坂下・深沢工区) ············1	11
(8)地方街路交付金事業都市計画道路停車場栄町線(裏尾崎工区)	11
(9) 国道107号落石対策(蔵工区)	12
(10) 地方道路交付金工事(改築)一般県道西目屋二ツ井線(荷上場バイパス)・・・・・・・・1	12
(11) 雄物川上流大仙地区河道掘削事業(福部羅地区)	13
(12) 通常砂防工事(上内町1)	13
(13) 河川改修工事(芋川)	14
(14) 河川改修工事(三種川)	14
(15)秋田県動物愛護センター(仮称)整備事業	15
(16) 大曲農業高校改修工事	15
2 平成29年度分	
(1) 国道 7 号遊佐象潟道路事業	16
(2) 国道46号西長野歩道整備事業	
(3)日本海沿岸東北自動車道(岩城~本荘)	
(4)一般国道7号能代地区線形改良	
(5) 一般国道7号鷹巣大館道路Ⅱ期(追加分)····································	
(6) 石成歩道事業	
(7)国道103号奥入瀬(青橅山)バイパス改築事業	19
(8)地方道路等整備工事国道108号(矢ノ本工区)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
(9)地方道路等整備事業主要地方道秋田御所野雄和線(太子前工区)	20
(10) 地方街路交付金事業都市計画道路停車場栄町線(裏尾崎工区)	21
(11) 地方道路交付金工事(改築)一般県道西目屋二ツ井線(荷上場バイパス) 2	21
(12) 地方道路交付金事業(災害防除)一般県道高屋敷茶屋下線(鬼神前田·小掛工区)·····2	22
(13) 地方道路等整備事業主要地方道寺内新屋雄和線(豊岩小山 I 工区) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
(14) 地方道路等整備事業主要地方道能代五城目線(湯ノ又滝ノ沢工区) ・・・・・・・・・・ 2	23

(15)	地方道路交付金工事主要地方道秋田雄和本荘線(相川工区) 23
(16)	県単道路改築事業一般県道湯ノ又前田線(下滝工区)・・・・・・・・・・・24
(17)	地方道路等整備工事(建設)主要地方道大曲大森羽後線(安良町工区) · · · · · · · · 24
(18)	地方道路等交付金工事(交安)主要地方道角館六郷線(千屋第一工区) · · · · · · · 25
(19)	地方道路交付金事業(改築)国道107号(大沢工区)25
(20)	地方道路等交付金工事(交安)主要地方道角館六郷線(砂溜工区)26
(21)	県単道路改築事業一般県道日三市角館線(川原工区)・・・・・・・・・・・・26
(22)	地方道路交付金工事(交通安全)主要地方道白沢田代線(大森工区) · · · · · · 27
(23)	地方道路等整備事業(建設)主要地方道横手東成瀬線(南郷工区) · · · · · · 27
(24)	地方道路交付金工事(改築)国道105号(草峠工区)28
(25)	地方道路等整備工事(建設)主要地方道本荘西仙北角館線(間明田工区) · · · · · · · 28
(26)	地方道路等整備事業国道398号(下山谷工区) · · · · · · 29
(27)	県単道路改築事業主要地方道鳥海矢島線(下直根工区)・・・・・・・・・・29
(28)	
(29)	子吉川川口地区河道掘削工事30
(30)	雄物川上流大仙地区河道掘削事業(福部羅地区) … 31
(31)	雄物川中流部河川事業 · · · · · 31
(32)	鳥海ダム建設事業 · · · · · · 32
(33)	成瀬ダム建設事業33
(34)	通常砂防工事(オンデの沢)・・・・・・・・・・・33
(35)	河川改修工事(三種川) · · · · · · 34
(36)	地すべり対策工事(小渕工区)・・・・・・・・・・・・・・34
(37)	広域河川改修工事(淀川)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(38)	流域治水対策河川工事(新城川) · · · · · · 35
(39)	横手西部農業水利事業36
(40)	田沢二期農業水利事業 · · · · · · 38
(41)	秋田中央署大町交番新築工事39
(42)	横手警察署改築事業39
	在来線列車無線地上設備更新事業(神宮寺駅)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	在来線列車無線地上設備更新事業 (羽後四ツ屋駅) 40
	在来線列車無線地上設備更新事業(刺巻駅) … 41
(46)	在来線列車無線地上設備更新事業(神代駅) … 41
第2節	遺跡確認調査
	[川改修工事(芋川)
才	⁻ ノ神遺跡 ······ 42
	・市連携文化施設整備事業
ク	.保田城跡49
]道7号遊佐象潟道路事業
	- 岩台遺跡
	館工業団地開発事業
	⁻ 貝家ノ下遺跡 ······ 59
報告書抄錄	65

第1章 はじめに

国庫補助を得て実施した遺跡詳細分布調査のうち、平成28年11月下旬~平成29年3月に実施した平成28年度の補足分は、国道7号遊佐象潟道路事業等に係る試掘調査16件である。平成29年4月~12月には、国道7号遊佐象潟道路事業、一般国道7号能代地区線形改良、成瀬ダム建設事業、田沢二期農業水利事業、秋田県建設部による主要地方道建設事業等に係る踏査・試掘調査46件と、河川改修事業、県・市連携文化施設整備事業、国道7号遊佐象潟道路等に係る遺跡確認調査4件を実施した。これらの調査はすでに策定してある調査要項に基づいて、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室職員、秋田県埋蔵文化財センター職員が、地元教育委員会の協力を得て実施したものである。

第2章 実施要項

第1節 遺跡分布調査

1 調査の目的

開発予定地内を踏査・試掘して遺跡の有無を確認し、遺跡の保護策を講ずる。

- 2 調査の方法
 - (1) 計画地域の範囲内で遺物の表面採集及び試掘調査を実施して遺跡の所在を確認するとともに、遺跡の性格についても把握する。
 - (2)確認された遺跡は地図に記入する。
 - (3)遺跡の状況、遠景を写真撮影し、遺跡の概要も記録する。
- 3 事業主体者 秋田県教育委員会
- 4 調查担当者 秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室

学芸主事伊藤武学芸主事袴田道郎文化財主査加藤竜文化財主査新海和広文化財主任髙橋和成文化財主事伊豆俊祐※職名は当時のものである

調査に当たっては以下の各教育委員会の方々に御協力いただいた。

鹿角市教育委員会 赤坂 朋美 大館市教育委員会 嶋影 壮憲

にかほ市教育委員会 須藤 恵

5 調査対象地域及び事業名

※平成28年度補足分(平成28年11月下旬~平成29年3月)

No.	事業者	事 業 名	事業地	調査期間	調査 内容	調査結果
1	国土交通省	日本海沿岸東北自動車道(岩 城~本荘)	由利本荘市	1月13日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
2	国土交通省	国道7号遊佐象潟道路事業	にかほ市	3月23~24日	試掘	事業地内で新たな遺跡1か所 (上岩台遺跡)を発見した。
3	建設部	地方道路交付金工事(雪寒) 国道105号(上桧木内工区)	仙北市	11月24日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
4	建設部	地方道路交付金工事(改築) 国道105号(草峠工区)	仙北市	11月24日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
5	建設部	地方道路交付金工事(交通安全)(主)横手東由利線(中山工区)	横手市	11月25日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
6	建設部	地方道路等整備工事(建設) (主)大曲大森羽後線(末館工 区)	横手市	11月25日	試掘	事業地内で周知の遺跡 1 か所 (末舘窯跡)を確認した。
7	建設部	地方道路等整備工事(建設)一般県道矢坂糠沢線(岩坂下·深沢工区)	北秋田市	12月8日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
8	建設部	地方街路交付金事業都市計画 道路停車場栄町線(裏尾崎工 区)	由利本荘市	12月26日	試掘	事業地内で周知の遺跡 1 か所 (代官小路遺跡)を確認した。
9	建設部	国道107号落石対策(蔵工区)	由利本荘市	2月3日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
10	建設部	地方道路交付金工事(改築)一 般県道西目屋ニッ井線(荷上 場バイパス)	能代市	3 月21日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
11	国土交通省	雄物川上流大仙地区河道掘削 事業(福部羅地区)	大仙市	11月22日	試掘	事業地内で新たな遺跡1か所 (新田大川端遺跡)を発見し た。
12	建設部	通常砂防工事(上内町1)	横手市	11月25日	試掘	事業地内で周知の遺跡2か所 (愛宕山遺跡、朝草刈城跡)を 確認した。
13	建設部	河川改修工事(芋川)	由利本荘市	12月7~8日	試掘	事業地内で周知の遺跡1か所 (才ノ神遺跡)を確認した。
14	建設部	河川改修工事(三種川)	三種町	12月26日、2月13日、 3月13日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
15	生活環境部	秋田県動物愛護センター(仮 称)整備事業	秋田市	2月7日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
16	教育庁	大曲農業高校改修工事	大仙市	1月23日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。

※平成28年度補足分工事立会(平成29年1月~3月)

No.	事業者	事 業 名	事業地	立会期間	立会結果	備考
1	観光文化ス ポーツ部	県・市連携文化施設整備事業	秋田市	3月6日	遺構・遺物なし	久保田城跡
2	教育庁	秋田工業高等学校第二期解体 工事	秋田市	3月9日 3月30日	遺構・遺物なし	一ノ坪条里制遺構
3	地方独立行政 法人秋田県立 病院機構	秋田県立脳血管研究センター 駐輪場増築工事	秋田市	3月6日	遺構・遺物なし	久保田城跡

※平成29年度分(平成29年4月~12月)

No.	事業者	事 業 名	事業地	調査期間	調査内容	調査結果
1	国土交通省	国道7号遊佐象潟道路事業	にかほ市	4月14・20~21・25 ~27日、6月21日、 8月7日、9月6・ 11~12・14日、10月 4・11~12日、12月 15日	試掘	事業地内で周知の遺跡 1 か所 (新館遺跡)を確認した。
2	国土交通省	国道46号西長野歩道整備事業	仙北市	8月8日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
3	国土交通省	日本海沿岸東北自動車道(岩 城~本荘)	由利本荘市	9月25日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
4	国土交通省	一般国道7号能代地区線形改良	能代市	11月21・30日	試掘	事業地内で周知の遺跡1か所 (竜毛沢II遺跡)を確認した。
5	国土交通省	一般国道7号鷹巣大館道路II 期(追加分)	北秋田市	12月 6 ~ 7 日	試掘	事業地内で周知の遺跡3か所 (からむし岱I遺跡、からむし 岱II遺跡、五右エ門屋敷下遺 跡)を確認した。
6	国土交通省	石成歩道事業	横手市	11月16日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
7	国土交通省	国道103号奥入瀬(青橅山)バイパス改築事業	鹿角市	9月20~21日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
8	建設部	地方道路等整備工事国道108 号(矢ノ本工区)	由利本荘市	4月18日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
9	建設部	地方道路等整備事業主要地方 道秋田御所野雄和線(太子前 工区)	秋田市	4月13日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
10	建設部	地方街路交付金事業都市計画 道路停車場栄町線(裏尾崎工 区)	由利本荘市	4月20~21日	試掘	事業地内で周知の遺跡 1 か所 (代官小路遺跡)を確認した。
11	建設部	地方道路交付金工事(改築)一 般県道西目屋ニッ井線(荷上 場バイパス)	藤里町・能 代市	4月24日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
12	建設部	地方道路交付金事業(災害防除)一般県道高屋敷茶屋下線 (鬼神前田·小掛工区)	能代市	4月25日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
13	建設部	地方道路等整備事業主要地方 道寺内新屋雄和線(豊岩小山 I工区)	秋田市	4月27日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
14	建設部	地方道路等整備事業主要地方 道能代五城目線(湯ノ又滝ノ 沢工区)	五城目町	5月8日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
15	建設部	地方道路交付金工事主要地方道秋田雄和本荘線(相川工区)	秋田市	5月11日 6月15日 9月14日	試掘	事業地内で新たな遺跡1か所 (向田表遺跡)を発見した。
16	建設部	県単道路改築事業一般県道湯 ノ又前田線(下滝工区)	大仙市	5月12日	踏査	事業地内で遺跡は確認されな かった。
17	建設部	地方道路等整備工事(建設)主 要地方道大曲大森羽後線(安 良町工区)	羽後町	5月15~16日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
18	建設部	地方道路等交付金工事(交安) 主要地方道角館六郷線(千屋 第一工区)	美郷町	5月17日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
19	建設部	地方道路交付金事業(改築)国 道107号(大沢工区)	横手市	5月19日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
20	建設部	地方道路交付金工事(交安)主 要地方道角館六郷線(砂溜工区)	大仙市	5月23日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
21	建設部	県単道路改築事業一般県道日 三市角館線(川原工区)	仙北市	5月24日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。

No.	事業者	事 業 名	事業地	調査期間	調査	調査結果
22	建設部	地方道路交付金工事(交通安全)主要地方道白沢田代線(大森工区)	大館市	6月6日	試掘	事業地内で新たな遺跡1か所 (大森野遺跡)を発見した。
23	建設部	地方道路等整備事業(建設)主 要地方道横手東成瀬線(南郷 工区)	横手市	6 月30日	踏査	事業地内で遺跡は確認されなかった。
24	建設部	地方道路交付金工事(改築)国 道105号(草峠工区)	仙北市	7月5日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
25	建設部	地方道路等整備工事(建設)主 要地方道本荘西仙北角館線 (間明田工区)	大仙市	7月26日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
26	建設部	地方道路等整備事業国道398 号(下山谷工区)	湯沢市	9月22日	踏査	事業地内で遺跡は確認されな かった。
27	建設部	県単道路改築事業主要地方道 鳥海矢島線(下直根工区)	由利本荘市	11月7日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
28	建設部	地方道路交付金事業国道398 号(稲庭バイパス)	湯沢市	11月20日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
29	国土交通省	子吉川川口地区河道掘削工事	由利本荘市	12月14日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
30	国土交通省	雄物川上流大仙地区河道掘削 事業(福部羅地区)	大仙市	8月18日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
31	国土交通省	雄物川中流部河川事業	大仙市	9月28日 10月2・6日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
32	国土交通省	鳥海ダム建設事業	由利本荘市	6月9日 7月7日 9月27日 10月16日	踏査	事業地内で周知の遺跡1か所 (高野台遺跡)を確認した。
33	国土交通省	成瀬ダム建設事業	東成瀬村	9月22日 11月1~2日	踏査・ 試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
34	建設部	通常砂防工事(オンデの沢)	能代市	5月24~25日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
35	建設部	河川改修工事(三種川)	三種町	8月29~31日 9月1日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
36	建設部	地すべり対策工事(小渕工区)	北秋田市	10月12日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
37	建設部	広域河川改修工事(淀川)	大仙市	11月28~29日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
38	建設部	流域治水対策河川工事(新城川)	秋田市	12月26日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
39	農林水産省	横手西部農業水利事業	横手市	8月28日	踏査	事業地内で周知の遺跡2か所 (江原嶋館跡、石塚上台遺跡) を確認した。
40	農林水産省	田沢二期農業水利事業	大仙市	10月13日	踏査	事業地内で周知の遺跡1か所 (真崎城跡)を確認した。
41	県警本部	秋田中央署大町交番新築工事	秋田市	6月16日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
42	県警本部	横手警察署改築事業	横手市	7月31日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
43	J R東日本	在来線列車無線地上設備更新事業(神宮寺駅)	大仙市	7月20日	試掘	事業地内で遺跡は確認されなかった。
44	J R東日本	在来線列車無線地上設備更新 事業(羽後四ツ屋駅)	大仙市	7月31日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
45	J R東日本	在来線列車無線地上設備更新事業(刺巻駅)	仙北市	9月15日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。
46	J R東日本	在来線列車無線地上設備更新事業(神代駅)	仙北市	12月25日	試掘	事業地内で遺跡は確認されな かった。

※平成29年度分工事立会(平成29年4月~12月)

No.	事業者	事 業 名	事業地	立会期間	立会結果	備考
1	国土交通省	大館能代空港西線	北秋田市	10月2日	遺構・遺物は確認できなかった。	観音堂岱遺跡
2	建設部	地方道路等整備事業(建設) 主要地方道横手大森大内線 (三本柳工区)	横手市	5月12日	遺構・遺物は確認できなかった。	条里制跡
3	建設部	通常砂防工事(上内町1)	横手市	4月11日	遺構・遺物は確認できなかった。	愛宕山遺跡 朝草刈城跡
4	建設部	通常砂防工事 (オンデの沢)	能代市	6月13~ 14・27日	遺構・遺物は確認できなかった。	茱萸ノ木遺跡
5	農林水産省	横手西部農業水利事業	横手市	12月27日	遺構・遺物は確認できなかった。	石塚上台遺跡
6	検察庁	秋田地方検察庁大館支部自動 車車庫等新設工事	大館市	11月1日	遺構・遺物は確認できなかった。	大館城跡
7	観光文化ス ポーツ部	県・市連携文化施設整備事業 (秋田和洋高等学校)	秋田市	7月27~ 28日、8月 2・4日	遺構・遺物は確認できなかった。	久保田城跡
8	教育庁	秋田工業高等学校第二期解体 工事	秋田市	4月3日	遺構・遺物は確認できなかった。	一ノ坪条里制遺構
9	地方独立行政 法人秋田県立 病院機構	秋田県立脳血管研究センター 新棟建設工事	秋田市	5月31日 6月14日	遺構・遺物は確認できなかった。	久保田城跡

第2節 遺跡確認調査

1 調査の目的

開発事業計画に係る遺跡の広がり、埋没の度合い、時代とその性格を知るために当該地域での遺物の表面採集及び小規模の発掘調査(遺構確認面までの掘り下げが主体)を行い、当該埋蔵文化財の保護と保存を図る。また、早急な内容の把握が求められる重要な遺跡については、地中レーダー探査により遺跡内の様相を把握し、当該埋蔵文化財の保護と保存に向けた情報・資料を得る。

2 調査の方法

- (1) 地形を考慮したトレンチ及び試掘坑を設定して行う。また、遺構等が確認された場合、できる 限り面的に調査範囲を広げて平面形を追求し遺構種別の特定に努める。
- (2)確認された遺構・遺物、遺物包含層、堆積土の厚さ等は、実測図等により記録する。また、遺跡の全景と調査状況、遺構・遺物の確認状況等は写真撮影し、画像を記録する。
- (3) 使用する地形図は開発部局で作成した最大縮尺の図面とする。
- 3 事業主体者 秋田県教育委員会

4 調査担当者

秋田県埋蔵文化財センター 主任文化財専門員 磯村 亨

副 主 幹 村上 義直

文化財主查 吉川 耕太郎 加藤 朋夏

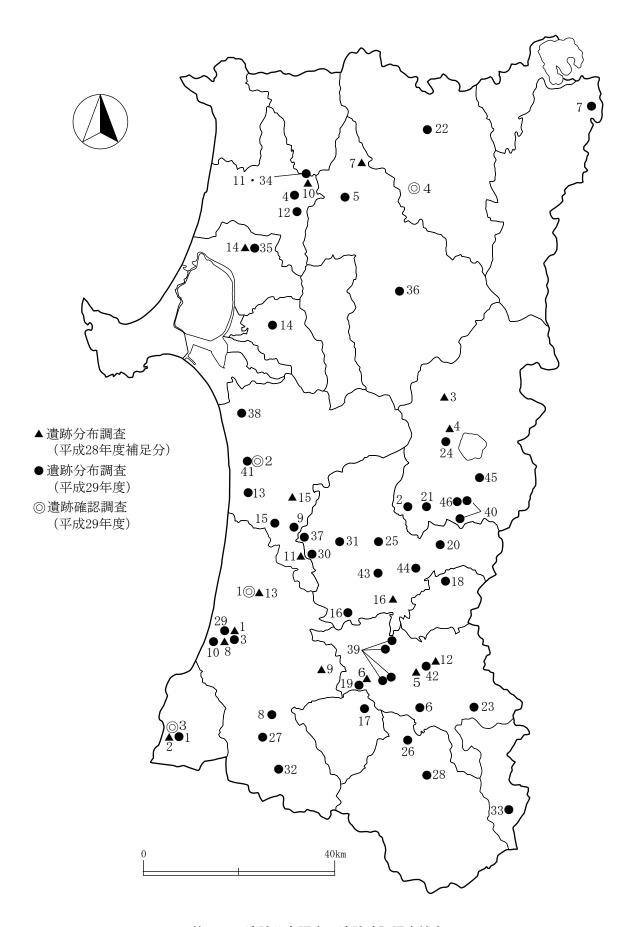
文化財主事 赤星 純平 冨樫 那美

巴 亜子 小山 美紀

安田 創

5 調査対象遺跡及び事業名

No.	事 業 名	遺跡名(所在地)	調査期間	担当者
1	河川改修工事 (芋川)	才ノ神遺跡(由利本荘市)	平成29年9月19日~9月29日	吉川・加藤・冨樫
2	県·市連携文化施設整備事業	久保田城跡 (秋田市)	平成29年11月13日~11月16日	磯村・村上
3	国道7号遊佐象潟道路事業	上岩台遺跡(にかほ市)	平成29年10月25日~11月7日	赤星・巴・安田
4	大館工業団地開発事業	片貝家ノ下遺跡 (大館市)	平成29年11月1日~2日	村上・小山



第1図 遺跡分布調査・遺跡確認調査地点図

第3章 調査の記録

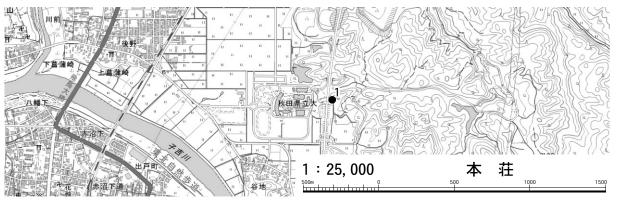
第1節 遺跡分布調査

1 平成28年度補足分

(1)日本海沿岸東北自動車道(岩城~本荘)

事業予定地のうち、工事用杭STA300付近について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	• • • •	由利本荘市土谷字太夫	•	山林	なし	

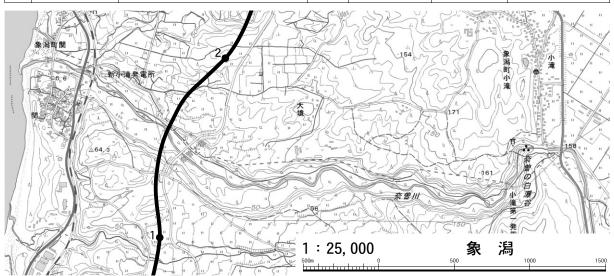


第2図 日本海沿岸東北自動車道(岩城~本荘) 遺跡分布調査位置図

(2) 国道7号遊佐象潟道路事業

事業予定地のうち、中心杭No.379~384、440~447の試掘調査を実施した。調査の結果、新発見の遺跡 1 か所が事業に係ることを確認したが、確認調査の結果、本発掘調査は不要と判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		にかほ市象潟町関字牛取場	• •	水田	なし	
2	上岩台遺跡	にかほ市象潟町関字上岩台	古代	山林	土師器	新発見の遺跡

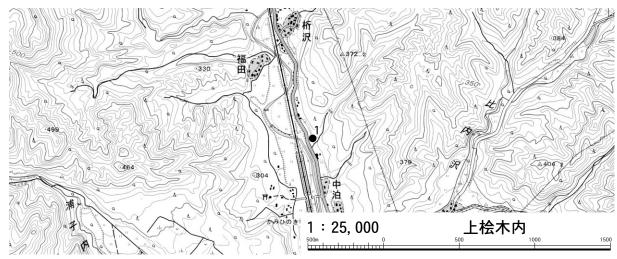


第3図 国道7号遊佐象潟道路事業 遺跡分布調査位置図

(3) 地方道路交付金工事(雪寒)国道105号(上桧木内工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		仙北市西木町上桧木内		畑、水田	なし	

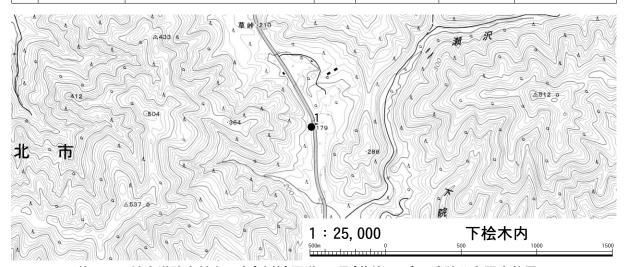


第4図 地方道路交付金工事(雪寒)国道105号(上桧木内工区) 遺跡分布調査位置図

(4) 地方道路交付金工事(改築)国道105号(草峠工区)

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		仙北市西木町桧木内字草峠		山林	なし	

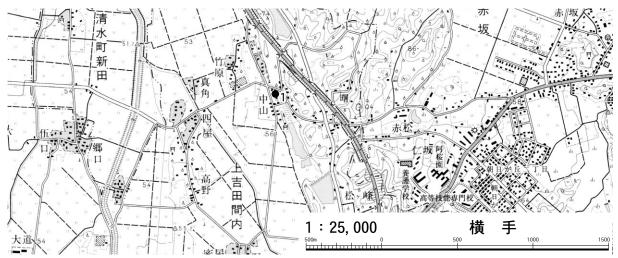


第5図 地方道路交付金工事(改築)国道105号(草峠工区) 遺跡分布調査位置図

(5)地方道路交付金工事(交通安全)(主)横手東由利線(中山工区)

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		横手市平鹿町上吉田		旧宅地	なし	

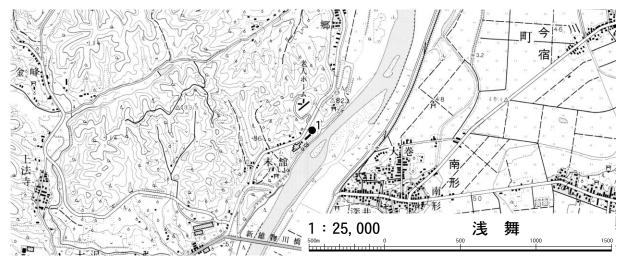


第6図 地方道路交付金工事(交通安全)(主)横手東由利線(中山工区) 遺跡分布調査位置図

(6) 地方道路等整備工事(建設)(主)大曲大森羽後線(末館工区)

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	末舘窯跡	横手市雄物川町今宿字末館	古代	駐車場	なし	周知の遺跡

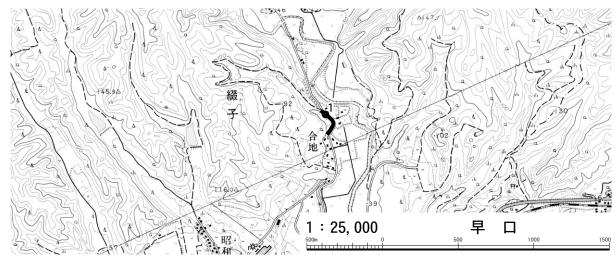


第7図 地方道路等整備工事(建設)(主)大曲大森羽後線(末館工区) 遺跡分布調査位置図

(7) 地方道路等整備工事(建設)一般県道矢坂糠沢線(岩坂下・深沢工区)

事業予定地のうち、中心杭No.33~42間について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		北秋田市綴子深沢	• •	更地	なし	

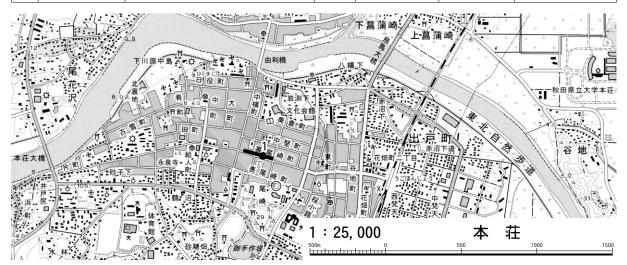


第8図 地方道路等整備工事(建設)一般県道矢坂糠沢線(岩坂下・深沢工区) 遺跡分布調査位置図

(8) 地方街路交付金事業都市計画道路停車場栄町線(裏尾崎工区)

事業予定地の北側拡張部の試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡 1 か所が事業に係ることを確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	代官小路遺跡	由利本荘市裏尾崎町	近世	旧宅地	陶磁器	周知の遺跡

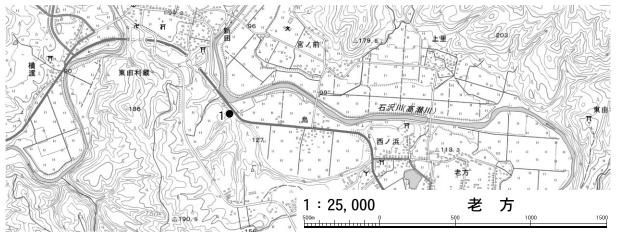


第9図 地方街路交付金事業都市計画道路停車場栄町線(裏尾崎工区) 遺跡分布調査位置図

(9) 国道107号落石対策(蔵工区)

事業予定地の中で試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地 については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了で ある。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		由利本荘市東由利蔵	• •	更地	なし	

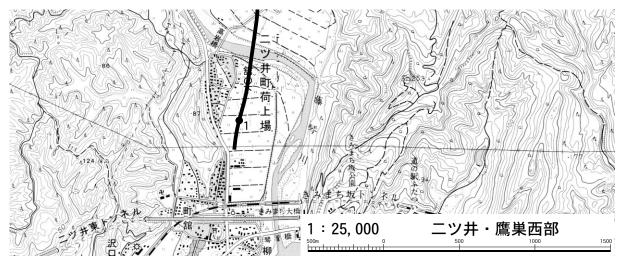


第10図 国道107号落石対策(蔵工区) 遺跡分布調査位置図

(10) 地方道路交付金工事(改築)一般県道西目屋ニッ井線(荷上場バイパス)

事業予定地の道路中心杭No.36~158(終点)の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。他の事業範囲については進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		能代市ニッ井町荷上場	• •	水田	なし	

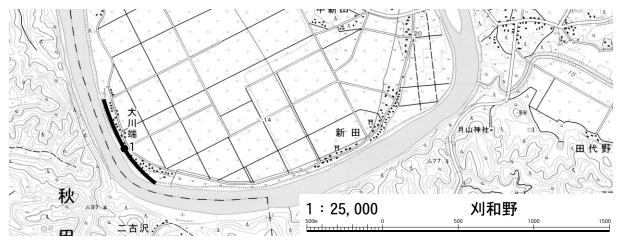


第11図 地方道路交付金工事(改築)一般県道西目屋ニッ井線(荷上場バイパス)遺跡分布調査位置図

(11) 雄物川上流大仙地区河道掘削事業(福部羅地区)

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、新発見の遺跡1か所が事業に係ることを確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。なお、本地点については平成27年度にも試掘調査を行い、同年度の報告では周知の大谷地遺跡の範囲としたが、今回の調査結果により、遺跡範囲を改め、新発見の遺跡(新田大川端遺跡)とした。

1	No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
	1	新田大川端 遺跡	大仙市協和小種字新田大川端、 新田尻	縄文	荒蕪地	土坑•柱穴• 土器	新発見の遺跡

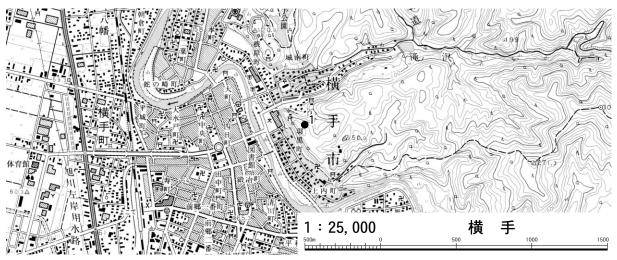


第12図 雄物川上流大仙地区河道掘削事業(福部羅地区) 遺跡分布調査位置図

(12) 通常砂防工事(上内町1)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡2か所が事業に係ることを確認した。 今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

N	b. 遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
-	愛宕山遺跡 朝草刈城跡	横手市睦成字城付	縄文 中世	山林	柱穴	周知の遺跡

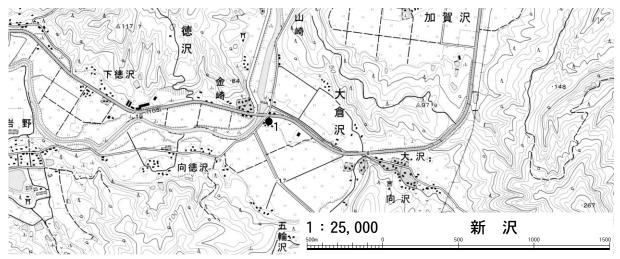


第13図 通常砂防工事(上内町1) 遺跡分布調査位置図

(13) 河川改修工事(芋川)

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所が事業に係ること を確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	才ノ神遺跡	由利本荘市岩谷町	縄文	畑	土器・石器	周知の遺跡

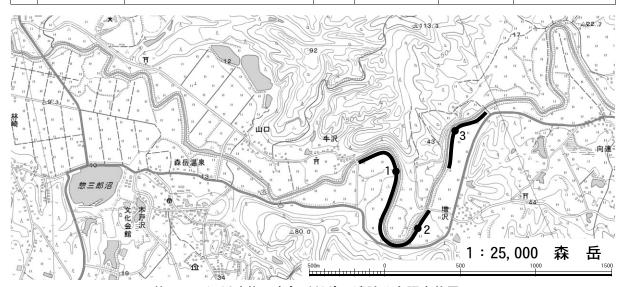


第14図 河川改修工事(芋川) 遺跡分布調査位置図

(14) 河川改修工事(三種川)

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		山本郡三種町森岳字山口		水田	なし	
2		山本郡三種町森岳字増沢		水田	なし	
3		山本郡三種町森岳字増沢		水田	なし	

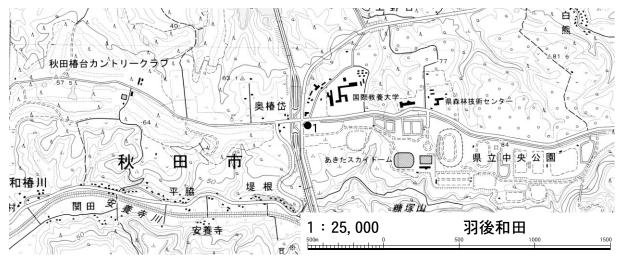


第15図 河川改修工事(三種川) 遺跡分布調査位置図

(15) 秋田県動物愛護センター(仮称)整備事業

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		秋田市雄和椿川		駐車場	なし	

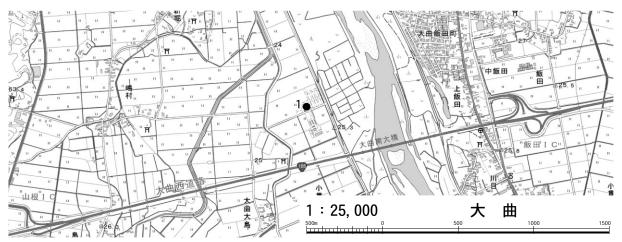


第16図 秋田県動物愛護センター(仮称)整備事業 遺跡分布調査位置図

(16) 大曲農業高校改修工事

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		大仙市大曲西根大嶋東	• •	施設跡地	なし	



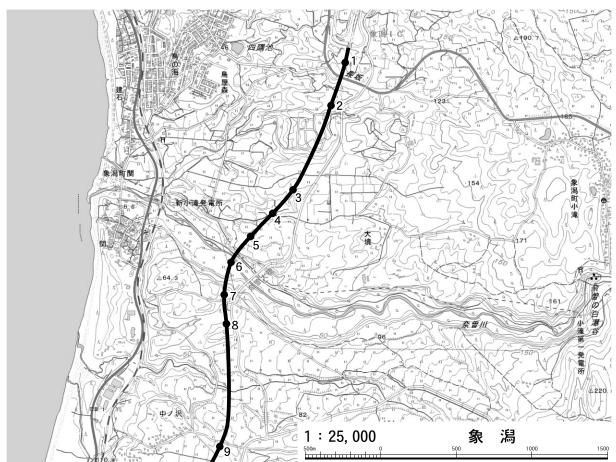
第17図 大曲農業高校改修工事 遺跡分布調査位置図

2 平成29年度分

(1)国道7号遊佐象潟道路事業

事業予定地のうち、中心杭No.347~357、384~396、398~426、428~447、472~480、485~495(終点)間について試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所を確認したが、遺構・遺物ともに確認できず、工事立会対応と判断した。そのほかの範囲については新たな遺跡は確認されず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		にかほ市象潟町関字梨ノ木台		水田、山林	なし	
2		にかほ市象潟町関字大道		水田	縄文土器	遺物は流れ込み
3		にかほ市象潟町関字上岩台		山林	なし	
4		にかほ市象潟町関字館森		水田	なし	
5	新館遺跡	にかほ市象潟町関字館森	縄文	水田	なし	周知の遺跡
6		にかほ市象潟町関字小川原		水田、畑	なし	
7		にかほ市象潟町関字下大坂		山林	なし	
8		にかほ市象潟町関字上大坂		山林	なし	
9	• • • •	にかほ市象潟町西中野沢字野添	• •	水田	なし	

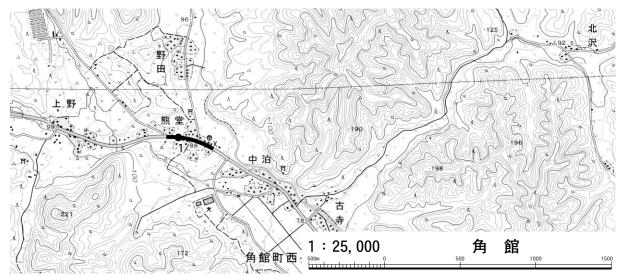


第18図 国道7号遊佐象潟道路事業 遺跡分布調査位置図

(2) 国道46号西長野歩道整備事業

事業予定地内の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、埋蔵文化財対応 は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		仙北市角館町西長野熊堂		宅地	なし	

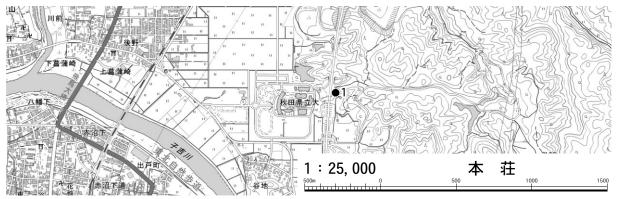


第19図 国道46号西長野歩道整備事業 遺跡分布調査位置図

(3)日本海沿岸東北自動車道(岩城~本荘)

事業予定地のうち、工事用杭STA300~301間について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		由利本荘市土谷字太夫	• •	山林、旧市道	なし	

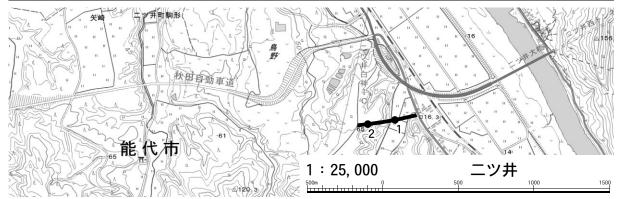


第20図 日本海沿岸東北自動車道(岩城~本荘) 遺跡分布調査位置図

(4)一般国道7号能代地区線形改良

事業予定地のうち、中心杭No.55~75間について試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所を確認した。いずれの箇所からも遺構・遺物ともに確認できず、周知の遺跡については工事立会対応、そのほかの範囲については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		能代市ニッ井町切石字竜毛沢	• •	水田、宅地	なし	
2	竜毛沢Ⅱ遺跡	能代市ニッ井町切石字竜毛沢	縄文他	山林	なし	周知の遺跡

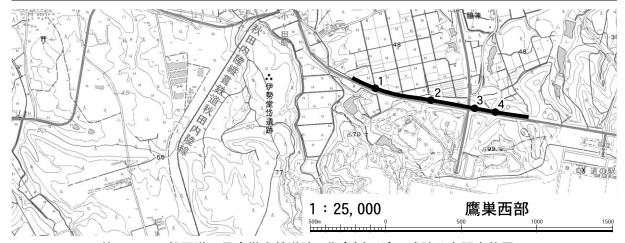


第21図 一般国道7号能代地区線形改良 遺跡分布調査位置図

(5) 一般国道7号鷹巣大館道路Ⅱ期(追加分)

事業予定地のうち、中心杭No.261~310間について試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡3か所を確認した。いずれの箇所からも遺構・遺物ともに確認できず、周知の遺跡については慎重工事対応、そのほかの範囲については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		北秋田市脇神字下からむし岱	• •	水田	なし	
2	からむし岱Ⅱ遺跡	北秋田市脇神字からむし岱	弥生	山林	なし	周知の遺跡
3	五右エ門屋敷下遺跡	北秋田市脇神字からむし岱	• •	山林	なし	周知の遺跡
4	からむし岱 I 遺跡	北秋田市脇神字からむし岱	縄文他	山林	なし	周知の遺跡



第22図 一般国道7号鷹巣大館道路Ⅱ期(追加分) 遺跡分布調査位置図

(6) 石成歩道事業

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

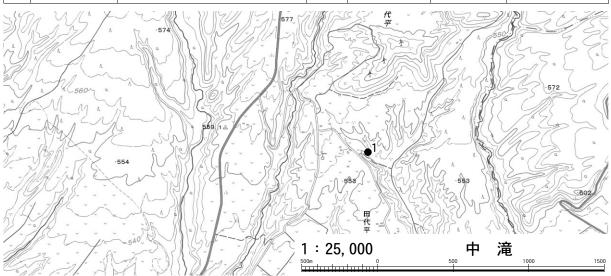
No. 遺跡名 所在地 時代 現況 遺構・遺物 備考 1 ・・・・ 横手市平鹿町醍醐 ・・ 道路 なし							
第 公方5.9 期 88 期	No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
富 475.9	1		横手市平鹿町醍醐	• •	道路	なし	
T	當。	75.9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	成が、田田・伊田・東一名の下の下の、茶の一般のでは、緑色のでは、緑色のでは、緑色のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	阿弥陀田。

第23図 石成歩道事業 遺跡分布調査位置図

(7) 国道103号奥入瀬(青橅山)バイパス改築事業

事業に係る残土置場予定地について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、 埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		鹿角市十和田大湯字田代平	• •	牧草地	なし	

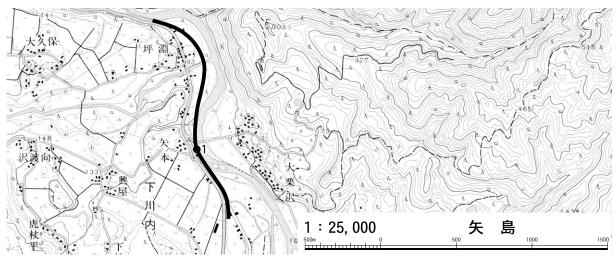


第24図 国道103号奥入瀬(青橅山)バイパス改築事業 遺跡分布調査位置図

(8) 地方道路等整備工事国道108号(矢ノ本工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		由利本荘市鳥海町下川内		畑	なし	

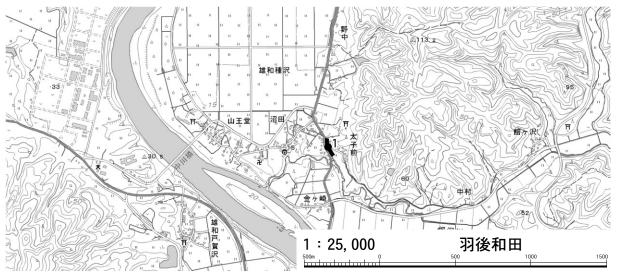


第25図 地方道路等整備工事国道108号(矢ノ本工区) 遺跡分布調査位置図

(9) 地方道路等整備事業主要地方道秋田御所野雄和線(太子前工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		秋田市雄和種沢字太子前	• •	畑	なし	

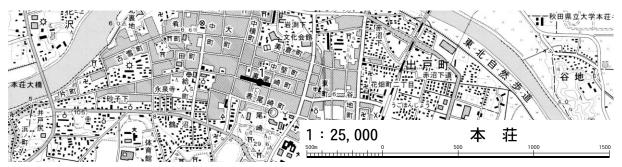


第26図 地方道路等整備事業主要地方道秋田御所野雄和線(太子前工区) 遺跡分布調査位置図

(10) 地方街路交付金事業都市計画道路停車場栄町線(裏尾崎工区)

事業予定地(道路中心杭No.11~19)の北側拡張部の試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡 1 か所が事業に係るものの残存状態が悪く、確認調査・本発掘調査は不要と判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	代官小路遺跡	由利本荘市裏尾崎町	近世	旧宅地	溝跡•陶磁器	周知の遺跡

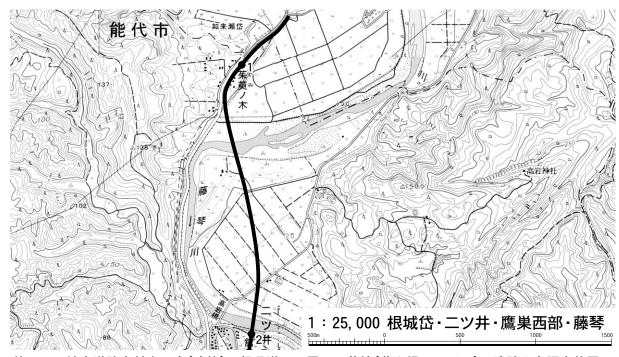


第27図 地方街路交付金事業都市計画道路停車場栄町線(裏尾崎工区) 遺跡分布調査位置図

(11) 地方道路交付金工事(改築)一般県道西目屋ニツ井線(荷上場バイパス)

事業予定地の道路中心杭No.24~28、125~136の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		山本郡藤里町如来瀬岱		山林	なし	
2		能代市二ツ井町荷上場		水田	なし	

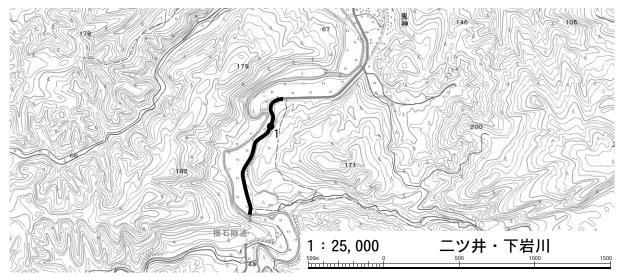


第28図 地方道路交付金工事(改築)一般県道西目屋二ツ井線(荷上場バイパス) 遺跡分布調査位置図

(12) 地方道路交付金事業(災害防除)一般県道高屋敷茶屋下線(鬼神前田・小掛工区)

事業予定地の道路中心杭No.63~70の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、 今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る 対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		能代市二ツ井町小掛	• •	道路	なし	

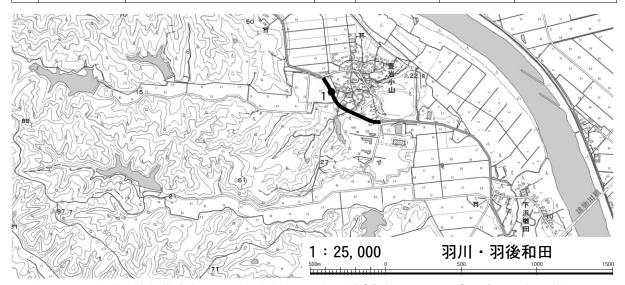


第29図 地方道路交付金事業(災害防除)一般県道高屋敷茶屋下線(鬼神前田・小掛工区) 遺跡分布調査位置図

(13) 地方道路等整備事業主要地方道寺內新屋雄和線(豊岩小山 [工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		秋田市豊岩小山		水田、畑	なし	

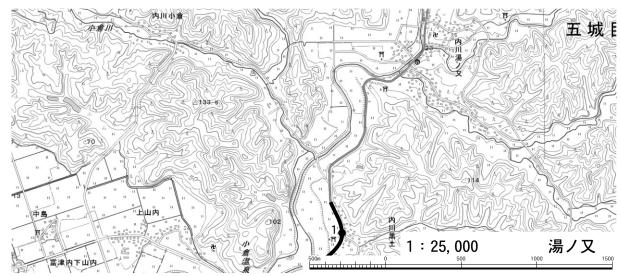


第30図 地方道路等整備事業主要地方道寺內新屋雄和線(豊岩小山 I 工区) 遺跡分布調査位置図

(14) 地方道路等整備事業主要地方道能代五城目線(湯ノ又滝ノ沢工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		南秋田郡五城目町内川黒土	• •	水田	なし	

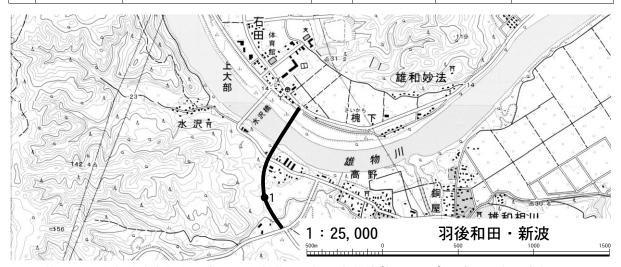


第31図 地方道路等整備事業主要地方道能代五城目線(湯ノ又滝ノ沢工区) 遺跡分布調査位置図

(15) 地方道路交付金工事主要地方道秋田雄和本荘線(相川工区)

事業予定地のうち、中心杭No.33~39の試掘調査を実施した。調査の結果、新発見の遺跡1か所が 事業に係ることを確認した。今後、事業の進捗に合わせ確認調査の対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・	遺物	備考
1	向田表遺跡	秋田市雄和相川	縄文	山林、水田	土器•	石器	新発見の遺跡

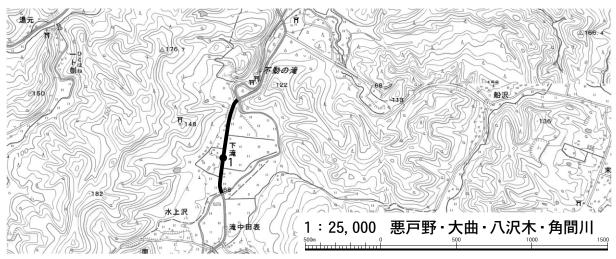


第32図 地方道路交付金工事主要地方道秋田雄和本荘線(相川工区) 遺跡分布調査位置図

(16) 県単道路改築事業一般県道湯ノ又前田線(下滝工区)

事業予定地の踏査を実施した。調査の結果、周囲の宅地よりも低い面であり用地幅が低く試掘調査ができないことから、対応は不要と判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		大仙市南外字下滝		水田	なし	

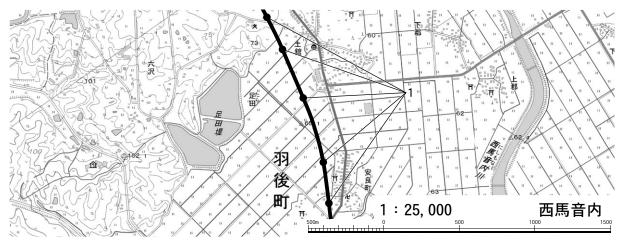


第33図 県単道路改築事業一般県道湯ノ又前田線(下滝工区) 遺跡分布調査位置図

(17) 地方道路等整備工事(建設)主要地方道大曲大森羽後線(安良町工区)

事業予定地のうち、中心杭No. $9\sim16$ 、 $20\sim33$ 、 $58\sim63$ 、 $69\sim74$ 、 $81\sim84$ 間について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		雄勝郡羽後町足田ほか		水田	なし	

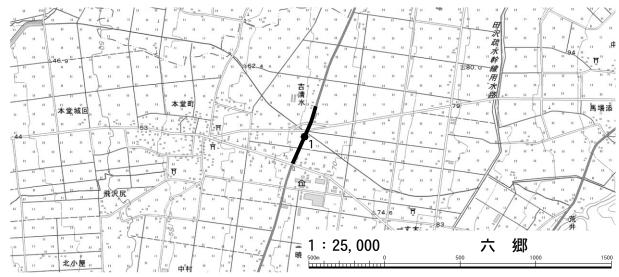


第34図 地方道路等整備工事(建設)主要地方道大曲大森羽後線(安良町工区) 遺跡分布調査位置図

(18) 地方道路等交付金工事(交安)主要地方道角館六郷線(千屋第一工区)

事業予定地のうち道路中心杭No.51~63、72~81の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		仙北郡美郷町本堂城回		水田	なし	

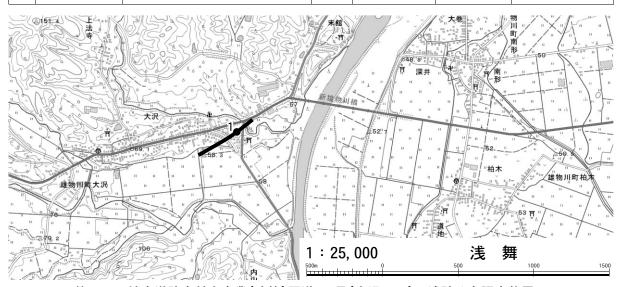


第35図 地方道路等交付金工事(交安)主要地方道角館六郷線(千屋第一工区) 遺跡分布調査位置図

(19) 地方道路交付金事業(改築)国道107号(大沢工区)

昨年度に引き続き事業予定地のうち、中心杭No.19~23について試掘調査を実施した。調査の結果、 遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、 事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		横手市雄物川町大沢		水田	なし	

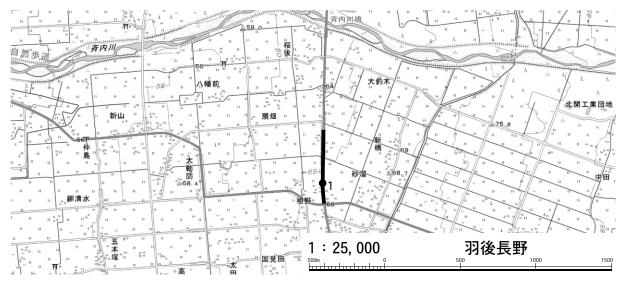


第36図 地方道路交付金事業(改築)国道107号(大沢工区) 遺跡分布調査位置図

(20) 地方道路等交付金工事(交安)主要地方道角館六郷線(砂溜工区)

事業予定地のうち、中心杭No. 0~26の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、 今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が 必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		大仙市太田町国見字砂溜	• •	水田	なし	

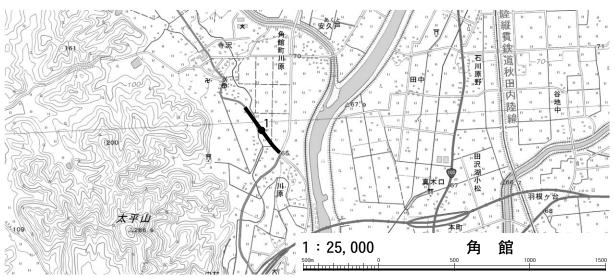


第37図 地方道路等交付金工事(交安)主要地方道角館六郷線(砂溜工区) 遺跡分布調査位置図

(21) 県単道路改築事業一般県道日三市角館線(川原工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		仙北市角館町川原	• •	水田	なし	

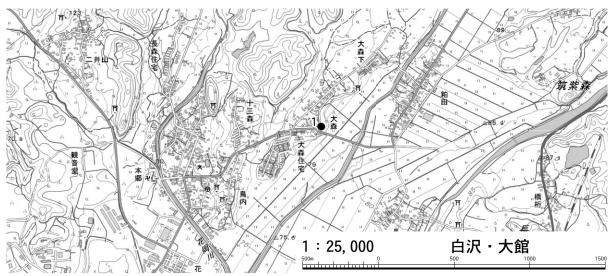


第38図 県単道路改築事業一般県道日三市角館線(川原工区) 遺跡分布調査位置図

(22) 地方道路交付金工事(交通安全)主要地方道白沢田代線(大森工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。新発見の遺跡 1 か所が事業に係ることを確認した。今後、事業 の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・	遺物	備考
1	大森野遺跡	大館市花岡町字大森野	縄文	宅地	土器•	石器	新発見の遺跡

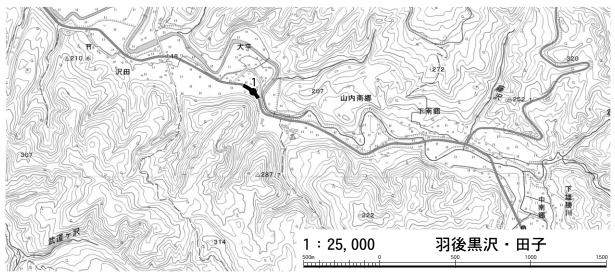


第39図 地方道路交付金工事(交通安全)主要地方道白沢田代線(大森工区) 遺跡分布調査位置図

(23) 地方道路等整備事業(建設)主要地方道横手東成瀬線(南郷工区)

事業予定地の踏査を実施した。調査の結果、現地は傾斜地であり、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		横手市山内南郷字大平		山林	なし	

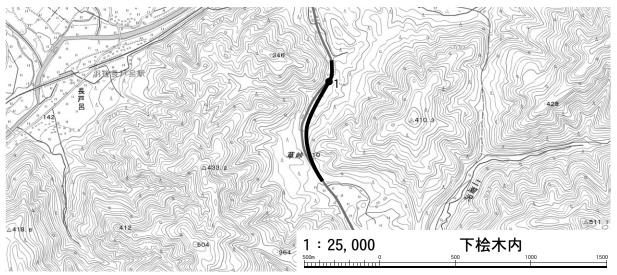


第40図 地方道路等整備事業(建設)主要地方道横手東成瀬線(南郷工区) 遺跡分布調査位置図

(24) 地方道路等交付金工事(改築)国道105号(草峠工区)

事業予定地のうち、中心杭No.100~121の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		仙北市西木町桧木内草峠	• •	水田	なし	

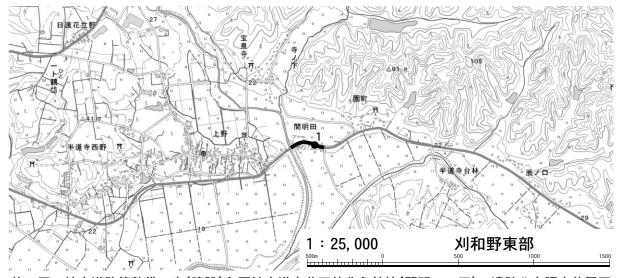


第41図 地方道路等交付金工事(改築)国道105号(草峠工区) 遺跡分布調査位置図

(25) 地方道路等整備工事(建設)主要地方道本荘西仙北角館線(間明田工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		大仙市土川字間明田		荒蕪地	なし	

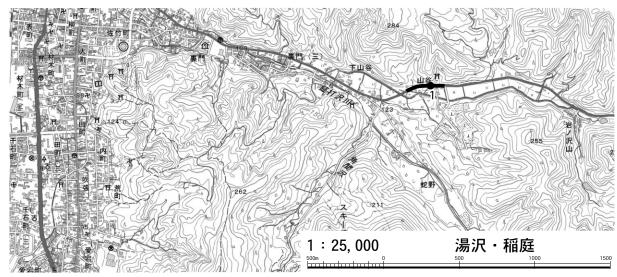


第42図 地方道路等整備工事(建設)主要地方道本荘西仙北角館線(間明田工区) 遺跡分布調査位置図

(26) 地方道路等整備事業国道398号(下山谷工区)

事業予定地のうち道路中心杭No.-40~4の踏査を実施した。調査の結果、旧地形は斜面と沢と推定され、用地幅が狭いため試掘調査は不要、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		湯沢市字下山谷	• •	道路•水路	なし	

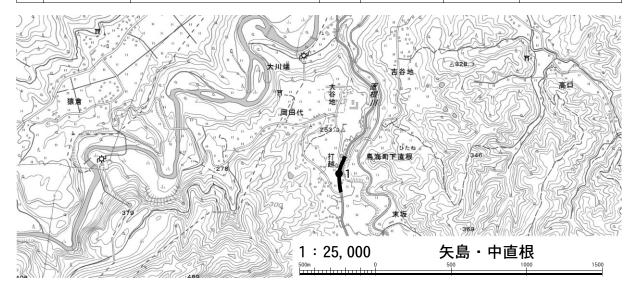


第43図 地方道路等整備事業国道398号(下山谷工区) 遺跡分布調査位置図

(27) 県単道路改築事業主要地方道鳥海矢島線(下直根工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		由利本荘市鳥海町中直根		畑	なし	

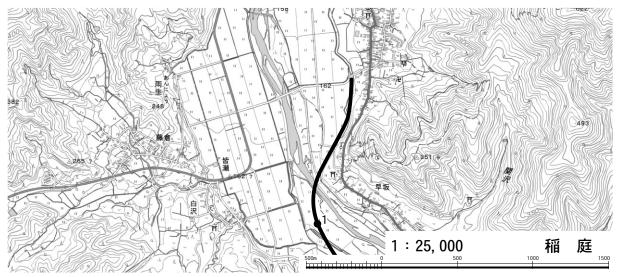


第44図 県単道路改築事業主要地方道鳥海矢島線(下直根工区) 遺跡分布調査位置図

(28) 地方道路交付金事業国道398号(稲庭バイパス)

事業予定地のうち道路中心杭No.32~46について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		湯沢市稲庭町	• •	畑	なし	

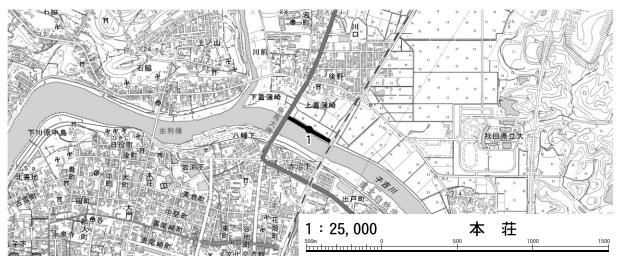


第45図 地方道路交付金事業国道398号(稲庭バイパス) 遺跡分布調査位置図

(29) 子吉川川口地区河道掘削工事

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、埋蔵文化財対応は 生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		由利本荘市川口		河川敷	なし	



第46図 子吉川川口地区河道掘削工事 遺跡分布調査位置図

(30) 雄物川上流大仙地区河道掘削事業(福部羅地区)

500m

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回 の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要 である。

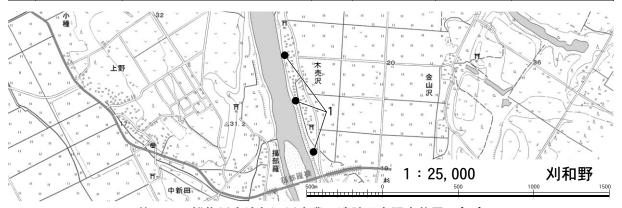
			1				I
No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構	遺物	備考
1		大仙市協和小種字中谷地	• •	畑、山林、荒蕪地	なし		
	秋	1	新 1		77.3	7944	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
	\$ 480 €	1	: 25,	000		刈和里	}

第47図 雄物川上流大仙地区河道掘削事業(福部羅地区) 遺跡分布調査位置図

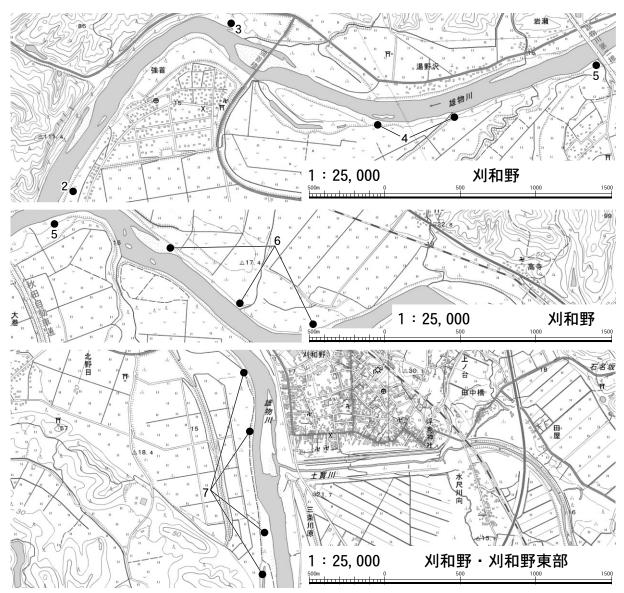
(31) 雄物川中流部河川事業

事業予定地の一部について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回 の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要 である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		大仙市木原田字木売沢		山林	なし	
2		大仙市強首字熊ノ木川端		山林	なし	
3		大仙市強首字大川向佐戸会	• •	山林	なし	
4	• • • •	大仙市協和峰吉川、強首	• •	河川敷、山林	なし	
5		大仙市大巻		河川敷	なし	
6		大仙市協和峰吉川	•	河川敷	なし	
7	• • • •	大仙市刈和野、北野目	• •	河川敷	なし	_



第48図 雄物川中流部河川事業 遺跡分布調査位置図(1)

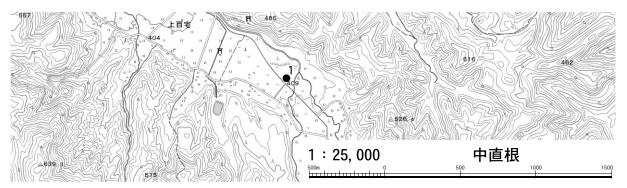


第49図 雄物川中流部河川事業 遺跡分布調査位置図(2)

(32) 鳥海ダム建設事業

事業予定地の一部について踏査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所を確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	高野台遺跡	由利本荘市鳥海町百宅	中世	畑	陶器	周知の遺跡

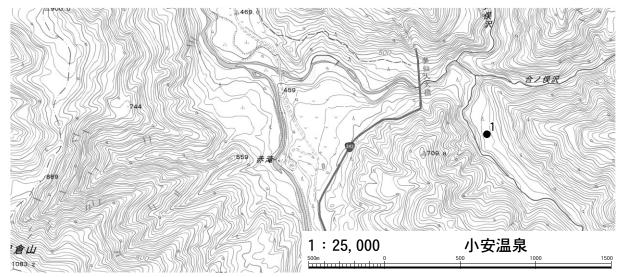


第50図 鳥海ダム建設事業 遺跡分布調査位置図

(33) 成瀬ダム建設事業

事業予定地のうち、木賊沢川右岸の一部について試掘調査及び踏査を実施した。調査の結果、遺構・ 遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業 の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		雄勝郡東成瀬村椿川字仁郷山		山林	なし	

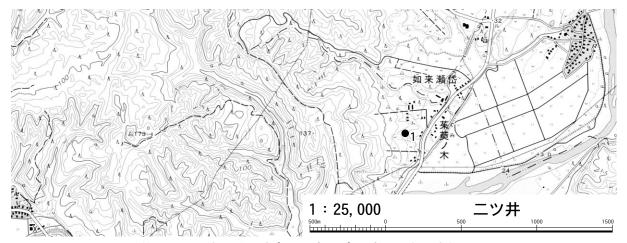


第51図 成瀬ダム建設事業 遺跡分布調査位置図

(34) 通常砂防工事(オンデの沢)

事業予定地のうち、オンデの沢 2 砂防えん堤箇所について試掘調査を実施した。調査の結果、周知の遺跡 1 か所を確認したが、遺構・遺物とも確認できず、慎重工事対応と判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	茱萸ノ木遺跡	能代市二ツ井町荷上場字茱萸ノ木	縄文	山林	なし	周知の遺跡

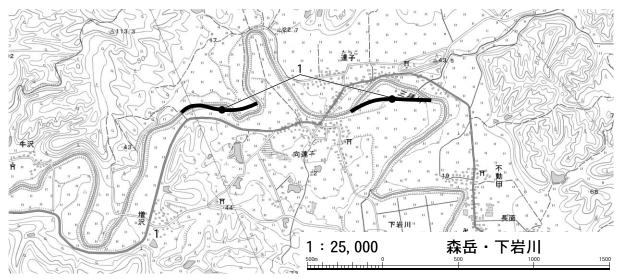


第52図 通常砂防工事(オンデの沢) 遺跡分布調査位置図

(35) 河川改修工事(三種川)

事業予定地のうち、中心杭No.84~95、108~121間について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		山本郡三種町森岳~下岩川	• •	水田、荒蕪地	なし	

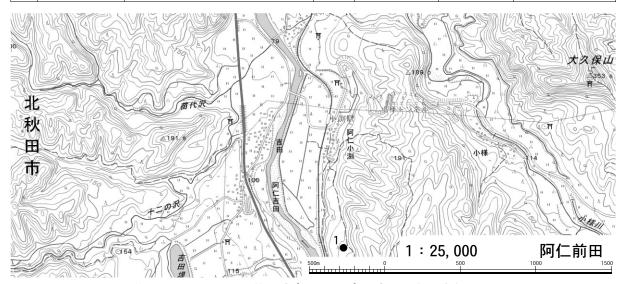


第53図 河川改修工事(三種川) 遺跡分布調査位置図

(36) 地すべり対策工事(小渕工区)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		北秋田市阿仁小渕字家ノ上		山林	なし	

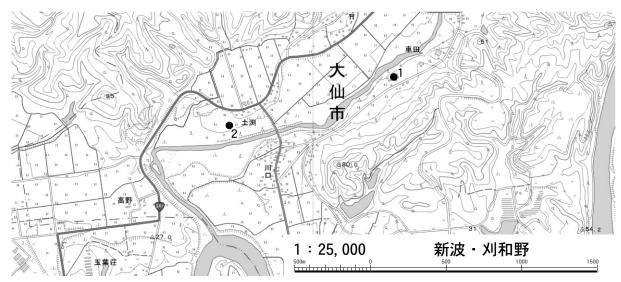


第54図 地すべり対策工事(小渕工区) 遺跡分布調査位置図

(37) 広域河川改修工事(淀川)

事業予定地のうち中心杭No. 7~10、No.27~37の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	• • • •	大仙市協和下淀川	• •	水田、荒蕪地	なし	
2	• • • •	大仙市協和下淀川		水田、荒蕪地	なし	



第55図 広域河川改修工事(淀川) 遺跡分布調査位置図

(38) 流域治水対策河川工事(新城川)

事業予定地のうち、No.44~47の右岸について試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	• • • •	秋田市下新城笠岡堰場	• •	水田、荒蕪地	なし	
建			11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	堰根 """		

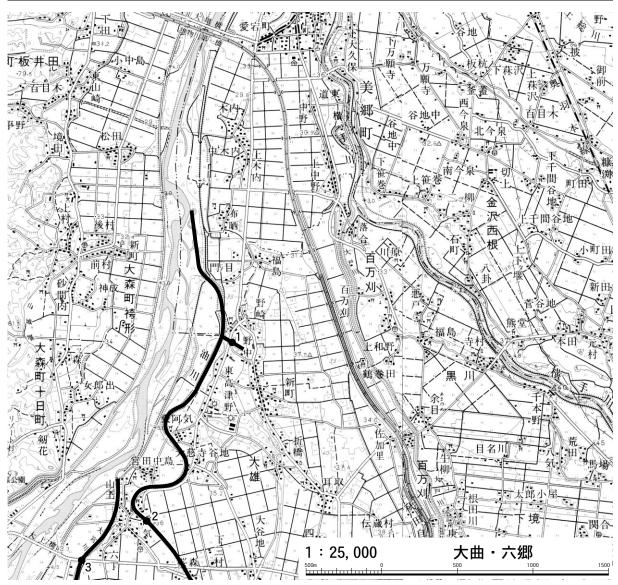


第56図 流域治水対策河川工事(新城川) 遺跡分布調査位置図

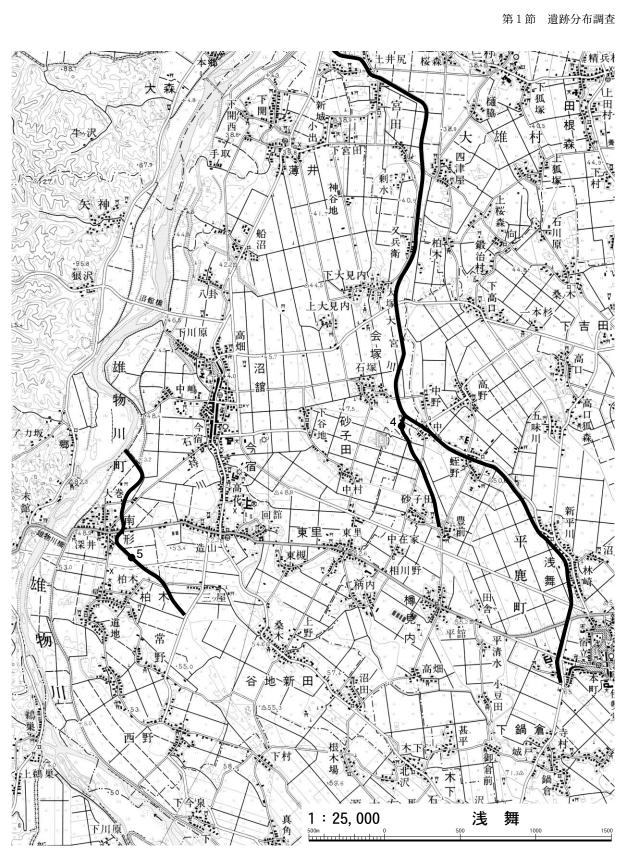
(39) 横手西部農業水利事業

事業予定地の一部について踏査を実施した。調査の結果、周知の遺跡2か所が事業に係ることを確認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		横手市大雄字野中		水路	なし	
2	江原嶋館跡	横手市大雄字江原	中世	水路	なし	周知の遺跡
3		横手市大雄字小林西		水路	なし	
4	石塚上台遺跡	横手市雄物川町会塚字上台	平安	水路	なし	周知の遺跡
5		横手市雄物川町柏木		水路	なし	



第57図 横手西部農業水利事業 遺跡分布調査位置図(1)

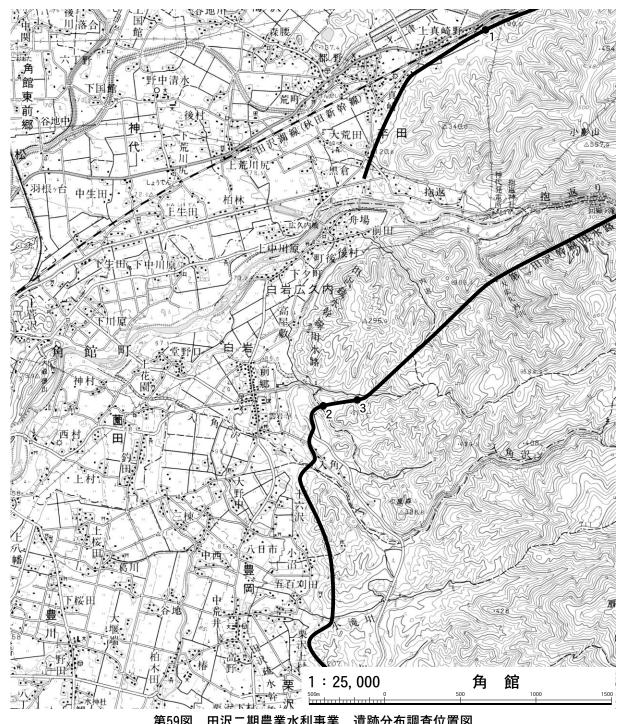


第58図 横手西部農業水利事業 遺跡分布調査位置図(2)

(40) 田沢二期農業水利事業

事業予定地の一部について踏査を実施した。調査の結果、周知の遺跡1か所が事業に係ることを確 認した。今後、事業の進捗に合わせた対応が必要である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1	真崎城跡	仙北市田沢湖卒田上真崎野	中世	山林	なし	
2		仙北市角館町白岩杉沢		サイフォン	なし	
3		仙北市角館町白岩杉沢		水路	なし	

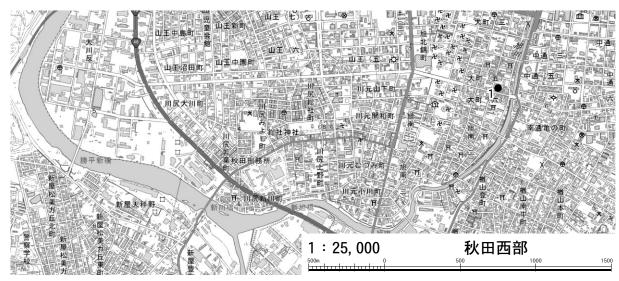


田沢二期農業水利事業 遺跡分布調査位置図 第59図

(41) 秋田中央署大町交番新築工事

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		秋田市大町5丁目	• •	宅地	なし	

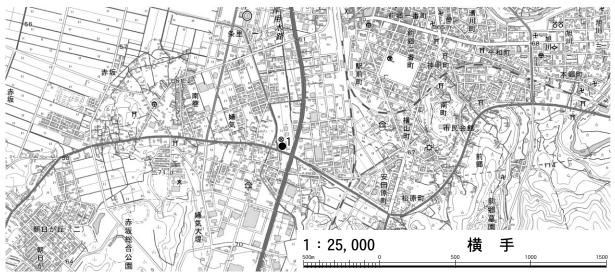


第60図 秋田中央署大町交番新築工事 遺跡分布調査位置図

(42) 横手警察署改築事業

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物とも確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。本事業についての埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		横手市安田字越廻		駐車場	なし	

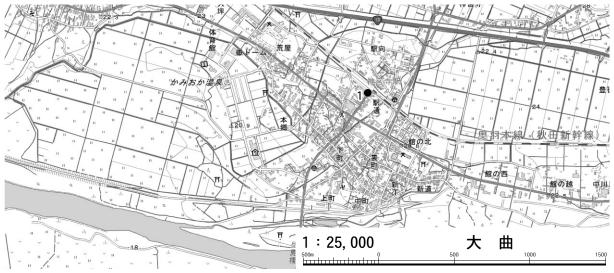


第61図 横手警察署改築事業 遺跡分布調査位置図

(43) 在来線列車無線地上設備更新事業(神宮寺駅)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。この地点での埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		大仙市神宮寺本郷野		駅構内	なし	

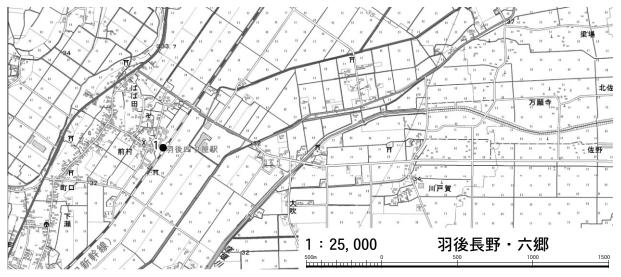


第62図 在来線列車無線地上設備更新事業(神宮寺駅) 遺跡分布調査位置図

(44) 在来線列車無線地上設備更新事業(羽後四ツ屋駅)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。この地点での埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		大仙市四ツ屋字前田	• •	駅構内	なし	

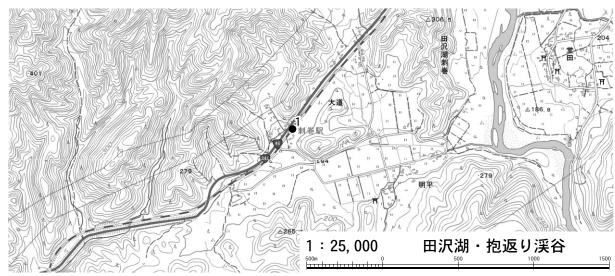


第63図 在来線列車無線地上設備更新事業(羽後四ツ屋駅) 遺跡分布調査位置図

(45) 在来線列車無線地上設備更新事業(刺巻駅)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。この地点での埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		仙北市田沢湖刺巻字大道		駅構内	なし	

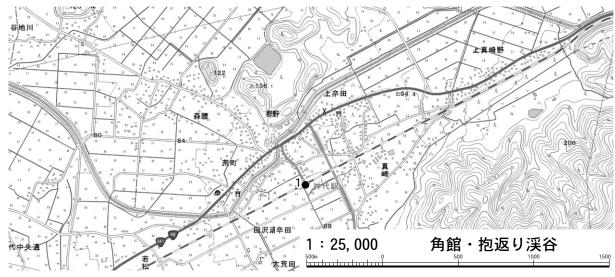


第64図 在来線列車無線地上設備更新事業(刺巻駅) 遺跡分布調査位置図

(46) 在来線列車無線地上設備更新事業(神代駅)

事業予定地の試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物ともに確認できず、今回の対象地については埋蔵文化財対応は生じないと判断した。この地点での埋蔵文化財に係る対応は終了である。

No.	遺跡名	所在地	時代	現況	遺構・遺物	備考
1		仙北市田沢湖卒田字白籏	• •	駅構内	なし	



第65図 在来線列車無線地上設備更新事業(神代駅) 遺跡分布調査位置図

第2節 遺跡確認調査

1 河川改修工事(芋川)

才ノ神遺跡

1 遺跡所在地 秋田県由利本荘市徳沢字才ノ神63-2ほか

2 確認調査期間 平成29年9月19日~9月29日

3 確認調査対象面積
 4,450㎡
 4 工事区域内遺跡面積
 5 要本発掘調査面積
 1,250㎡

6 遺跡の立地と現況

a 立地

遺跡はJR羽越本線羽後岩谷駅から東方約4km、子吉川の支流である芋川左岸の河岸段丘面(標高約20m)に立地する(第66・67図)。現在遺跡の西側を南流し徳沢橋が架かる部分の河道は、元文5(1740)年、新田開発に伴う掘割により新たに開削されたもので、本来の流れは遺跡の立地する段丘の東側を蛇行していたことが『大内町史』に記されている。才ノ神遺跡周辺の遺跡として、南西に10kmほど離れた芋川と子吉川の合流点には縄文時代早期の貝塚として著名な菖蒲崎貝塚がある。才ノ神遺跡直近の遺跡としては、芋川左岸の丘陵上に徳沢館、同右岸の山館跡などの中世城館が点在するほか、縄文時代の才ノ神Ⅱ遺跡、中小屋遺跡、小坂A・B・C遺跡などが点在する。とくに芋川を挟み対岸に所在する才ノ神Ⅱ遺跡は、前記した河道開削以前は一続きの地形上にあったと考えられることから、本来は一つの遺跡だったと推測される。

才ノ神遺跡は、県の出羽丘陵開発に伴う遺跡詳細分布調査のなかで昭和52年に発見された。昭和54年には国道105号線バイパス工事に伴い県教育委員会による発掘調査が、平成29年には本荘消防署大内分署建設事業に伴い由利本荘市教育委員会による事前発掘調査が行われた。

b 現況

調査対象地域は旧本荘高等学校大内分校グラウンド及び宅地で、現況は荒蕪地である。

7 確認調査の方法

当該調査範囲に隣接する平成29年の由利本荘市教育委員会による調査結果では、縄文時代早期・前期・中期の遺物包含層が検出されており、その深度に関する情報を事前に得ることができた。調査では地形等に合わせて幅1.5~2 m、長さ1.6~15m程のトレンチを計15か所設定し、遺構・遺物の有無を確認しながら重機で掘り下げた(第69図)。その後、トレンチ壁面及び底面を精査し、遺構・遺物の有無の確認と堆積土の観察を行った。なお、縄文時代中期の面で遺構が検出された場合は、下位層の掘削は行わず、遺構のない部分を選び深掘りを行った。調査の記録は、検出遺構と出土遺物の位置を示す平面図及び簡易土層図の作成とデジタル写真撮影によって行った。実質調査面積は162㎡で、確認調査対象面積の3.6%に相当する。なお、縄文時代中期の遺構確認面であるV層が確認できたのは2のうち85㎡、同じく早期の遺構確認面であるX層まで確認することができたのは48.5㎡である。

8 確認調査の結果

- a 層序 遺跡内の基本層序は次の通りである(第68図)。
- I層 黒褐色(7.5YR3/1) 粘性弱 締まり弱 層厚10cm 現地表土
- II 層 黒褐色(7.5YR3/1) 粘性なし 締まりなし 層厚25~55cm 現代撹乱層
- Ⅲ層 褐色(7.5YR4/3)粘質土 粘性中 締まり弱 層厚25cm
- IVa層 にぶい黄褐色(10YR5/4)粘質土 粘性強 締まり中 層厚20~60cm 縄文時代中期遺物包含層
- IVb層 にぶい黄褐色(10YR4/3)粘質土 粘性弱 締まり弱 層厚5~22cm 調査範囲東側(第1・6・12・13トレンチ)で堆積を確認 縄文時代中期遺物包含層
- IVc層 にぶい黄褐色(10YR5/4)粘質土 粘性強 締まり中 層厚20cm 第6トレンチでのみ確認 縄文時代中期遺物包含層
- V層 明黄褐色(10YR6/6)粘質土 粘性強 締まり強 層厚20~30cm 縄文時代中期遺物包含層 縄文時代中期遺構検出面
- VI層 暗褐色(10YR3/3)砂礫土 粘性なし 締まりなし 層厚10~23cm 調査範囲東側(第1・6・ 12・13トレンチ)で堆積を確認 旧河川由来の砂礫層
- VII層 にぶい黄褐色(10YR5/4) シルト質土 粘性強 締まり強 層厚10~40cm 調査範囲東側(第 1 ・6・12・13トレンチ)で堆積を確認
- Ⅷ層 にぶい黄褐色(10YR4/3)粘質土 粘性強 締まり強 層厚7~15cm 縄文時代前期遺物包含層
- IX層 にぶい黄褐色(10YR5/3)粘質土 粘性強 締まり強 層厚10~13cm
- Xa層 黒色(10YR2/1)粘質土 粘性強 締まり強 層厚10~12cm 縄文時代早期遺物包含層 縄文時 代早期遺構検出面
- Xb層 にぶい黄褐色(10YR5/4)粘質土 粘性強 締まり強 層厚10cm 漸移層 第2・6トレンチで 確認 縄文時代早期遺物包含層
- X I 層 淡黄色(2.5Y8/3) シルト質土 粘性強 締まり強 層厚30cm 女川層由来の泥岩礫を包含する 第1・6トレンチで水の影響を受けた脱色化の進行を確認

XII層 基盤 女川層

調査範囲西側(第 $2\cdot3$ トレンチ)ではIV層上半以上が削平され、VI・VII層の堆積は確認されず、IX層は水の影響による白色化が見られなかった。一方、調査範囲東側はVI層以下の堆積が厚く、現地表面から基盤層までが深い。このことから、現地表面は水平に造成されているものの、縄文時代早期・前期には西から東にかけて最大約2mの高低差を持って急激に落ち込んでいたことが確認された。また、台地の下、グラウンドから6m低い第8トレンチは、グライ化が進んでいたため基本土層と対比

できず、 $1\sim5$ 層と層番を付した。1 層は現代の宅地造成等に伴う盛土、2 層以下はグライ化による 粘質土で全体的に砂礫が混入する。なかでも3 層は砂礫を主体とする層でVI 層に相当する可能性があり、総じて $2\sim5$ 層は旧芋川に由来する河川堆積層と考えられる。本来は南側に広がる沖積地と同じ 地形面だったと考えられる。

b 検出遺構と出土遺物

調査の結果、縄文時代中期のIV~V層で竪穴建物跡 2 軒、土坑 9 基、溝跡 1 条、柱穴様ピット16基が第 1 トレンチ北側および第 2 ・ 3 トレンチ中央部のIV~Vb層で集中して検出され、平面プラン上は遺構の重複が著しいことが予測される。ほとんどの遺構覆土は遺構確認面と似たような色調であり、明確なプランの把握は困難であった。第 2 トレンチのVb層で検出された竪穴建物跡は形状や規模が不明だが、確認地点での壁高は約20cmを測る。遺物は遺構の集中する第 1 ~ 3 トレンチIV~Vb層を中心に縄文時代中期の土器・石器が出土した。前期のVIII層では柱穴様ピット 1 基、前期に帰属する遺物としては、第 2 トレンチで土器がまとまって出土し、とくに南壁VIII層に土器片が集中して確認された。早期では柱穴様ピットと推定されるプラン 3 基が第 6 トレンチ 1 I 層上面及び第 1 イレンチ 1 I 層上面で検出されたが、湧水のため詳細を把握することはできなかった(第 1 6 9 図)。また、早期に帰属すると推定される剥片が第 1 トレンチのIX層より 1 点出土した。特記すべきものとして第 1 トレンチ 1 区層中の遺構集中範囲から有孔石製品 1 点が土坑覆土と推測される黒色土中から出土した。

9 所見

a 遺跡の種類

検出遺構と出土遺物から、縄文時代早期から中期にかけての集落跡と考えられる。また、上述の有 孔石製品の出土から土坑墓の存在も予測される。

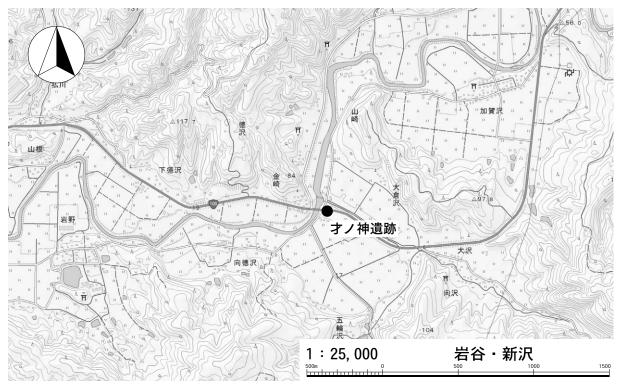
b 遺跡の範囲と工事区域

遺構・遺物が検出されず、宅地造成等に伴う撹乱が著しい調査範囲西側(第2・3トレンチ西半、第11トレンチ)および市道徳沢落合野線以南の旧宅地がある荒蕪地(第4・5・7~10・15トレンチ)は要本発掘調査範囲から除外した。ただし、第14トレンチの調査の結果により、市道徳沢落合野線の下に少なくともVIII層以下が残存していることが確認されたため、要本発掘調査範囲に含めた。

以上、本確認調査により、市道部分の一部は縄文時代中期の遺構確認面・遺物包含層が削平されている可能性があるものの、総じて縄文時代早期・前期・中期の3面の遺構確認面が確認できたため、 実質的な要本発掘調査面積は、早・前期が各1,250㎡、中期が1,115㎡、あわせて3,615㎡となる。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

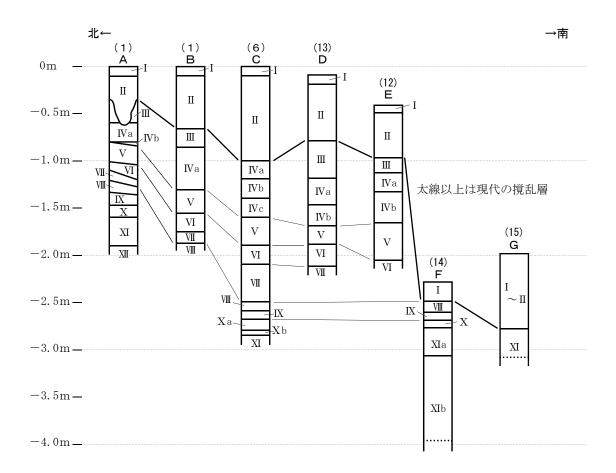
前述の由利本荘市教育委員会による調査所見と同様、遺跡では縄文時代早・前・中期の3面にわたる遺構確認面(V・VII・X層)が存在することを確認した。その深度は、第2トレンチX層上面で現地表下150cm、第1トレンチX層上面で270cmを測り、調査面積に対して比高差が大きく、相当量の排土が生じることが想定される。確認調査の結果、縄文時代早~中期の竪穴建物跡、土坑、溝跡、柱穴様ピットの検出が予想される。遺物は、縄文時代早~中期の土器、石器、石製品の出土が見込まれる。

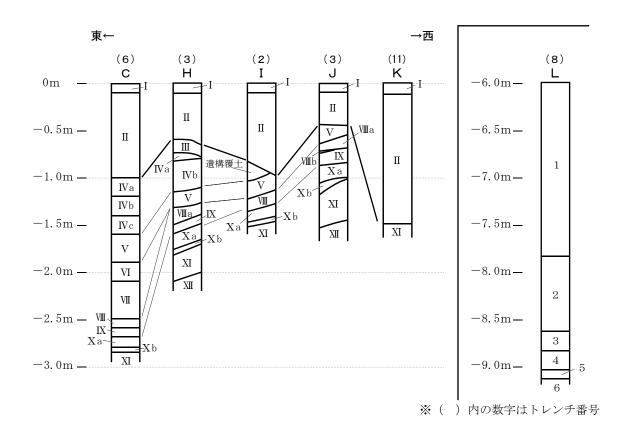


第66図 才ノ神遺跡位置図

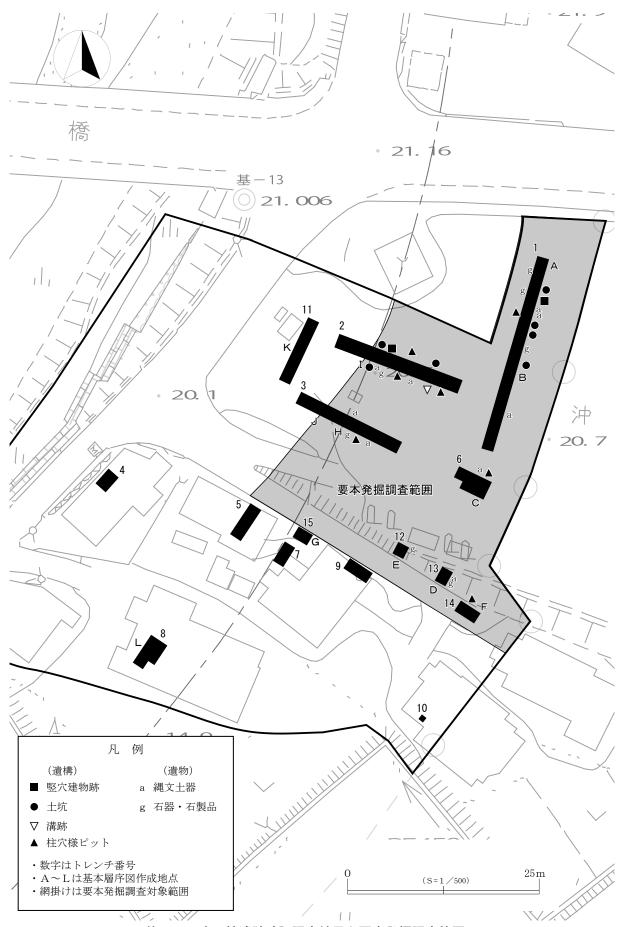


第67図 オノ神遺跡推定範囲と調査対象範囲図





第68図 オノ神遺跡基本層序図



第69図 オノ神遺跡確認調査結果と要本発掘調査範囲図



1. 第1トレンチ 作業風景(北から)



 第1トレンチ 基本層序:地点A (西から)



 第2トレンチ 有孔石製品出土状況 (西から)

2 県・市連携文化施設整備事業

久保田城跡

1 遺跡所在地 秋田県秋田市千秋明徳町204ほか

2 確認調査期間 平成29年11月13日~11月16日

3 確認調査対象面積 11,600 m²

4 工事区域内遺跡面積 11,600 m²

5 要本発掘調査面積 11,600 ㎡

6 遺跡の立地と現況

a 立地

遺跡は、JR秋田駅の西0.5kmの千秋公園台地に位置し、旭川左岸の千秋公園台地南端部の標高11 m前後の平場にある。久保田城跡は、佐竹氏が台地と周辺の河川や低湿地を利用し築城(1603~1604 年)した近世城郭跡である。外堀(穴門の堀)の西側は旧町内名の「古川堀反」が示すように旭川の旧河道を利用したものである。

b 現況

調査対象範囲の秋田県民会館とジョイナス(県生涯学習センター分館)の敷地は、久保田藩の家老職にあった渋江家の屋敷地に相当する。屋敷地を取り囲む土塁は、北〜東側では既に削平されていると考えられる。一方、南〜西側では屋敷地より3mほど高く、上面には、秋田市の保存樹となっているケヤキやマツの巨木が根付いている。土塁内側の平場中央には秋田県民会館とジョイナスが構築されており、建物周辺の駐車場はアスファルト舗装されている。

7 確認調査の方法

施設が営業中であるため、配管等地下埋設物のない場所を選びトレンチを設定した。トレンチの幅は、地形を考慮し $0.6\sim0.9$ mとした。掘削は重機と人力で行った。 $1\cdot2$ トレンチでは路面カッターと重機でアスファルトの除去・掘削を行い、 $3\sim5$ トレンチでは人力で掘削を行った。トレンチの総数は計5本、実質調査面積は16.1㎡で、確認調査対象面積11,600㎡の0.14%に相当する。

8 確認調査の結果

a 層序

土塁内側平場(1・2・5トレンチ)

- I a層 アスファルト 層厚10cm 1・2トレンチ
- I b層 砕石 層厚10cm 1・2トレンチ
- I c 層 砂 層厚10cm 客土 1・2トレンチ
- Id層 コンクリート 層厚10cm 記念碑建立以前の路面 2トレンチ
- Ie層 砕石 2トレンチ
- If層 黒褐色シルト 層厚5cm 5トレンチ (表土)
- II 層 褐色粘質シルト 層厚40cm 5トレンチ
- Ⅲ 層 褐色粘質シルト 亜角礫含む 5トレンチ
- IV 層 褐色砂礫 層厚30cm以上 段丘礫層か 1・2・5トレンチ
- Ⅴ 層 褐色砂 ラミナ状堆積 2トレンチ

土塁上(3・4トレンチ)

- I 層 黒褐色シルト 表土 層厚5 cm
- Ⅱ 層 暗褐色シルト 粗砂多く含む 炭化物少量含む 土塁 (盛土層) 50cm~

土塁内側の平場では、 $1 \cdot 2 \cdot 5$ トレンチの状況から $I \sim V$ の層序を復元できる。1トレンチでは、アスファルト・砕石・砂などによる現代の整地地業層である I 層と地山とみられるIV 層(地山砂礫層)の間に炭化物を含む 3 層(褐色粘質シルト)が堆積する。この層は整地地業に伴う盛り土とみられるが、直下のIV 層上面も整地に伴い削平された可能性がある。 3 層上部には、土坑状の掘り込み(もしくは凹地)がみられ、2 層(黒色シルト)、1 層(褐色シルト)が埋土として堆積し、いずれも炭化物を含む。なお、 $1 \cdot 3$ 層上部も整地地業に伴う削平を受けた可能性がある。2 トレンチ北側は、用地北東隅に隣接する「東海林太郎記念碑」建立(昭和50年代整備)に伴い削平後、擁壁内側に砂による盛土が施された痕跡が認められる。トレンチ南側には、近現代の整地地業層である I a b b d b e 層下に自然層位のII 層(砂礫層)、V 層(砂層)が堆積している。なお、I e 層とII 層の間に見られる若干のロームブロックは、近世盛土の残存部分の可能性がある。5 トレンチでは、I 層表土(黒褐色シルト)下が地山の上部層とみられる II 層(褐色粘質シルト)となる。本来は本層上に遺物包含層や整地層があったと推測される。 $3 \cdot 4$ トレンチの状況から、土塁は、3 トレンチ北側の電柱支線埋設に伴う撹乱部分を除き概ね良好な状態で保存されているとみられる。土塁上の遺構確認面は、砂利や焼土・炭化物交じりのII 層(暗褐色シルト)であり、盛土層と考えられる。盛土層下は、基底部までの掘り下げができず、より具体的な土塁の構造は確認できなかった。

b 検出遺構と出土遺物

3トレンチで土坑と柱穴様ピットを、1トレンチでは、性格不明遺構を検出した。土坑は埋土に近現代の瓦を大量に含む。遺物は土塁上のI層で近現代の瓦片が出土したほか、磁器片を表採した。

9 所見

a 遺跡の種類

周辺の地形や検出遺構から、本遺跡は千秋公園台地及び周辺に広がる近世の城郭と推定される。

b 遺跡の範囲と工事区域

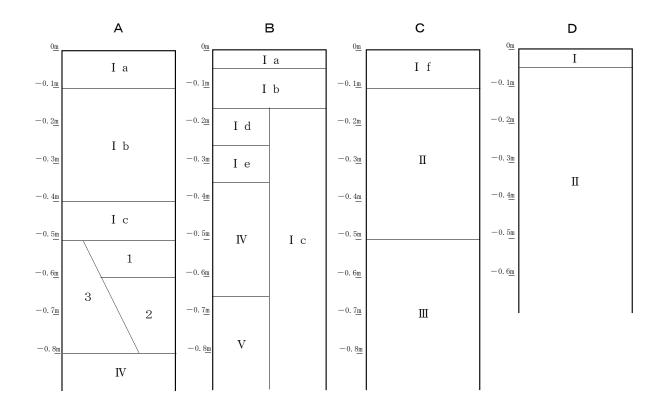
遺構や整地層が確認されたことにより、周知の遺跡「久保田城跡」範囲内にある工事区域(調査対象範囲)11,600㎡の全域が本発掘調査必要範囲となる。

c 発掘調査時に予想される遺構・遺物

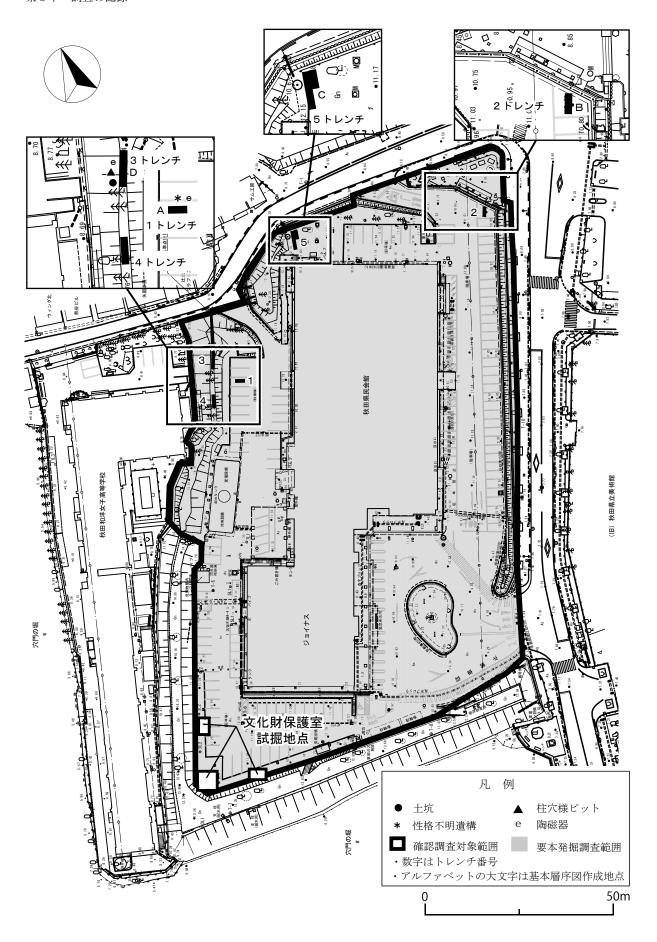
確認調査結果から予想される遺構は、土塁および土塁上に構築された遺構、整地層および整地層上に構築された近世の遺構群であるが、試掘調査結果からは、掘立柱建物跡、礎石建物跡、土塁、板塀跡、井戸跡、土坑、焼土遺構、溝跡、柱穴様ピット等の近世の遺構の検出が予想される。2つの調査結果を総合すると、土塁内側では築城に伴う大規模な整地地業の痕跡と場所によっては複数の生活面とそれに伴う遺構群の検出が想定され、土塁上では板塀跡や礎石建物跡などが検出されるであろう。また、試掘調査で古代の遺物包含層が確認された工事区域南西側(第72図 文化財保護室試掘地点)では、古代の遺構・遺物が検出される可能性がある。遺物は、陶磁器を中心に木製品、金属製品など近世の遺物が大量に出土すると予想される。



第70図 久保田城跡遺跡範囲と確認調査対象範囲図



第71図 久保田城跡基本層序図



第72図 久保田城跡確認調査結果と要本発掘調査範囲図



調査状況
 (西から)



 2. 2トレンチ土層 断面 (北から)



 3.3トレンチ遺構 検出状況 (北から)

3 国道7号遊佐象潟道路事業

上岩台遺跡

1 遺跡所在地 秋田県にかほ市象潟町関字上岩台地内

2 確認調査期間 平成29年10月25日~11月7日

 3 確認調査対象面積
 5,780㎡

 4 工事区域内遺跡面積
 2,000㎡

 5 要本発掘調査面積
 0 ㎡

6 遺跡の立地と現況

a 立地

遺跡は、にかほ市役所象潟庁舎の南東約4km、奈曽川の支流によって開析された標高約80mの台地上に立地する。遺跡の地形は、平坦面、緩斜面、急斜面で構成され、最も高所と低所では約10mの標高差がある。奈曽川右岸の台地上には縄文時代の遺跡が散見され、遺跡南西約0.5kmには新館遺跡、南0.5kmには古館遺跡、南東0.7kmにはヨシワ沢遺跡などがある。

b 現況

調査対象範囲は北東から南西方向に長さ約150m、幅約40mで、西側の平坦地は林地で東側の斜面は原野となっている。

7 確認調査の方法

遺跡の範囲はおおよそ台地の平坦面であるが、遺跡の広がりを確認するため工事区域内の平坦面から延びる緩斜面・斜面を含めて確認調査の対象とした。調査は、トレンチ調査を基本とし、地形を考慮して幅1~1.5mのトレンチを設定した。トレンチ内での見極めが困難な場合は必要に応じ範囲を拡張し、遺構・遺物の有無を確認した。トレンチの掘削は重機と人力で行った。トレンチの総数は計37本、実質調査面積は320㎡で、確認調査対象面積の6%に相当する。

8 確認調査の結果

a 層序

遺跡内の基本層序は次の通りである。

I 層 暗褐色シルト〜粘土(10YR 3/3)締まり強 粘性強 盛十 層厚14~40cm Ⅱ層 黒色~暗褐色シルト (10YR 2/1~3/1)締まり中 粘性中 表土 層厚3~20cm Ⅲa層 褐色粘土質シルト(10YR 4/4) 締まり中 粘性やや強 遺物包含層 層厚 5~30cm Ⅲb層 黄褐色シルト (10YR 4/4) 締まりやや強 粘性やや強 層厚 4~22cm IV層 明褐色シルト〜粘土(10YR 4/6) 締まりやや強 粘性やや強 二次堆積層 層厚 4~16cm V層 暗褐色シルト(10YR 3 / 3) 締まりやや弱 粘性中 埋没古土壌 層厚16~25cm 黄褐~明褐色シルト (10YR 4/4~5/8)締まりやや強 粘性中 二次堆積層 層厚15~20cm VI層 VⅢ層 明褐色シルト (7.5YR 5 / 6) 締まり強 層厚18cm~ 粘性弱 地山 VⅢ層 緑灰色砂岩礫(5G5/1) 締まりやや強 粘性弱 岩盤

I層は、確認調査前に実施された隣接地の排土仮置きと除去工事による盛土残土である。Ⅱ層は表土で、平坦面北側ではⅠ層盛土によって良好な状態を保っていた。Ⅲa層は、平坦面中央付近でのみ確認できた炭化物を含む褐色シルトで、ごくわずかに土師器片を包含する。Ⅲb層は平坦地で確認で

きる黄褐色シルト層である。IIIa層とIIIb層は同時異相と考えられる。IV・VI層は斜面で確認された平坦部や斜面上を供給源とする二次堆積層と考えられる。V層は、18トレンチや15トレンチ上部など斜面の中腹で確認した暗褐色シルト層で、IV層との層境は明瞭であるが、VI層との層境は漸移的であることから、埋没古土壌と考えられる。VII層は、明褐色シルトの地山である。地点により様相が異なり細分が可能だったが、一括で地山層とした。平坦面では、粘土質、砂質と土性が変化しており、斜面中腹では、やや赤みを帯びた明褐色シルトに変化する。また、斜面の末端の7トレンチや20トレンチで、VII層の砂岩礫層を確認した。

b 検出遺構と出土遺物

調査の結果、確認調査対象範囲内で遺構は検出されなかった。なお、分布調査時にトレンチの断面で確認され、竪穴建物跡の覆土の可能性があると考えられていた層は、今回の確認調査で見つかった III a層であると考えられる。 III a層は、下層から整合的に累積することがトレンチ断面で確認できたこと、遺構の立ち上がりが認められないことから遺構に関わる覆土等ではないと判断した。出土遺物は、土師器20点、近世以降の陶磁器 9 点、石鏃 1 点、礫石器 1 点である。このうち土師器片が III a層から 6 点、IV層から 1 点、それ以外の遺物は II 層からの出土もしくは表面採集である。

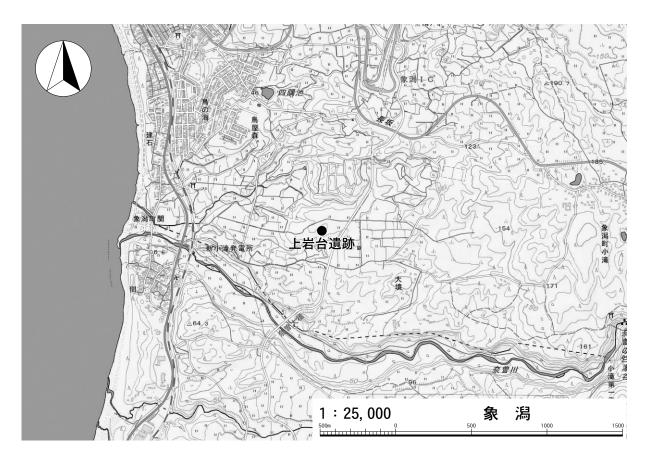
9 所見

a 遺跡の種類

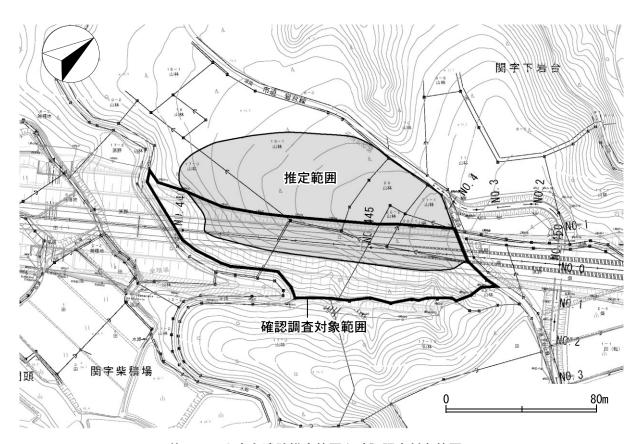
分布調査及び確認調査で得られた土師器は遺物包含層と考えられるⅢa層から出土しており、Ⅲa層は西側に隣接する台地の平坦部を中心に広がっていると考えられる。このことから本遺跡は縄文時代と古代及び近世の散布地と考えられる。

b 遺跡の範囲と工事区域

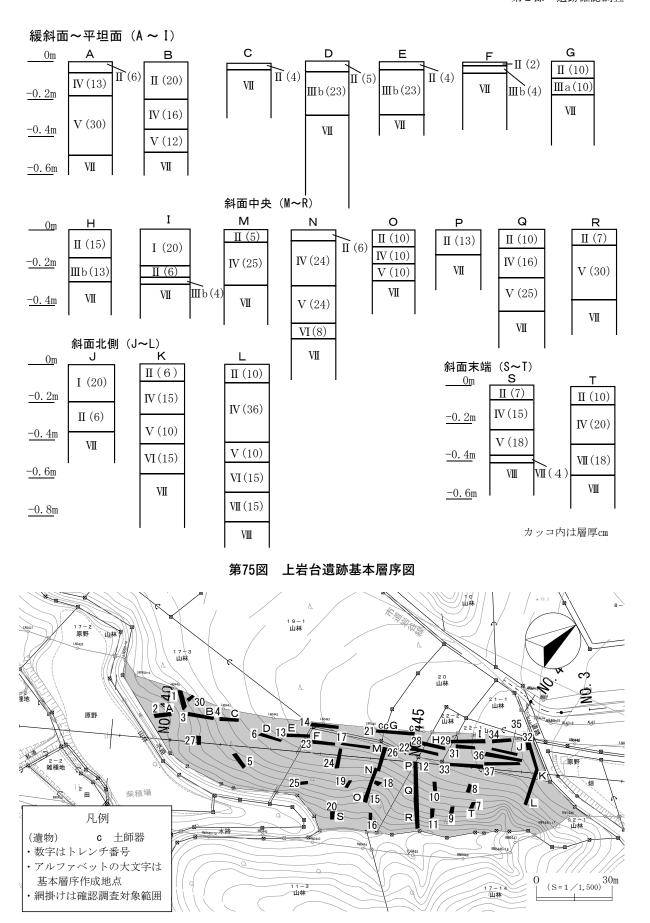
遺跡の中心は北西側の台地平坦面に広がっているものと考えられる。確認調査対象範囲は、遺構が確認されず、遺物の分布が極めて散漫であり、遺跡周辺の散布地に相当する。このことから工事区域内について、本発掘調査の必要はないと判断される。



第73図 上岩台遺跡位置図



第74図 上岩台遺跡推定範囲と確認調査対象範囲図



第76図 上岩台遺跡確認調査結果図



1. 調査区(北東から)



2. 調査区(南西から)



3. 21トレンチ 土師器出土状況

4 大館工業団地開発事業

片貝家ノ下遺跡

1 遺跡所在地 秋田県大館市比内町片貝字家ノ下17ほか

2 確認調査期間 平成29年11月1日~11月2日

3 確認調査対象面積 39,000㎡

4 レーダー探査対象面積 906㎡

5 遺跡の立地と現況

a 立地

遺跡は、JR花輪線扇田駅の南西2kmに位置し、引欠川右岸の標高58mの沖積地(旧自然堤防上と低地)に立地する。引欠川は昭和30年代後半まで遺跡の東~北西縁に沿うように流れており、本来、遺跡はこの川の左岸に位置していたことになる。遺跡の北に隣接する旧河道は周囲より1.5mほど低く現地形でも確認できる。

引欠川流域は江戸時代から埋没建物が見つかることで知られ、遺跡から5km下流の大披・板沢地区では、洪水に伴う崖崩れの際に建物がたびたび発見されたことが菅江真澄等の記録に残されている。

b 現況

調査対象範囲全域が旧水田であり、草刈り等の管理なしでは雑草が繁茂する状況である。対象範囲は北西-南東方向に長く、その中を車両通行可能な2本の農道が100m間隔で北東-南西方向に通っているが、隣接地の造成工事により寸断された状態となっている。2か年にわたり行われた確認調査時のトレンチは埋め戻され、周辺と同様に草地となっている。

6 調査の概要

a これまでの調査の概要

遺跡は平成27・28年に確認調査が行われた。調査の結果、西暦915年の十和田火山の噴火に伴う降下軽石(大湯軽石)や火山泥流堆積物(シラス)により建ったまま埋没し、傾斜した屋根の痕跡が3次元的に残る伏屋形式の竪穴建物跡や竪穴・掘立柱併用建物跡が検出された。建ったまま埋没した建物跡は、屋根や柱などの構造材が腐朽した痕跡が主体となるが、地下水位が高いところでは構造材が残存している。出土遺物には床面から約1.1mの高さから重ねて伏せられた状態で出土した土師器もあり、吊り棚等に収納されていたとみられる。埋没前に人為的に埋め戻された竪穴建物跡も検出され、建物跡群は遺跡の北東側に展開し、集落が一定期間存続していたことが確認された。さらに、降下軽石が田面及び畦畔直上に堆積した水田跡が検出されたことから、集落と水田耕作地が一連となって保存されていることが判明した。以上のことから、降下軽石とシラスによる分厚い堆積物により今日まで集落と周辺の景観が保存されてきた圧倒的情報量を持ち、極めて重要な遺跡であると評価できる。

b レーダー探査の目的

今後の調査・保存の見通しを立てるため、遺跡を破壊せずに遺構の分布状況が推定できる手法としてレーダー探査が有効であるかを確かめる目的で実施した。平成27年度の確認調査で検出された建ったまま埋没した竪穴建物跡や、現地表面から $1\sim2$ m下に埋没している埋め戻された竪穴建物跡の地盤状況や深度がレーダー探査で測定可能かどうかを確認することを目的とした。

c レーダー探査の方法

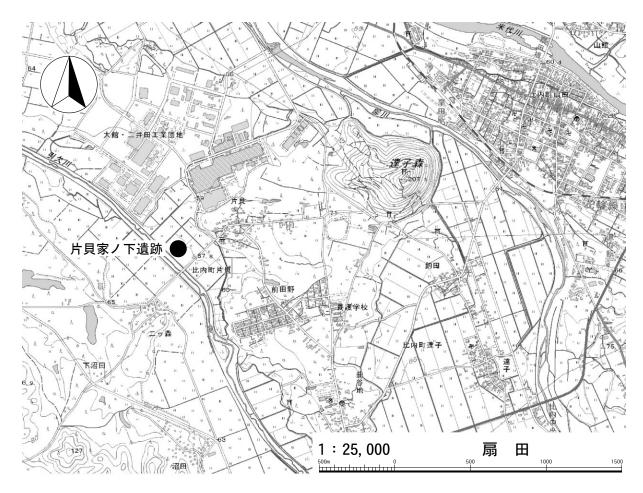
レーダー探査は、地面に向けて電磁波を発して地中からの反射を捉えることで、地下の埋設物等の異物や空洞、地層境界面を判別する物理探査手法の一つである。埋没した遺跡を破壊することなく把握することが可能なため、埋蔵文化財調査においても有効な手法である。秋田県内では、同じく平安時代の埋没建物が検出された北秋田市の胡桃館遺跡でレーダー探査が行われているほか、群馬県渋川市の国指定史跡黒井峯遺跡や宇津野・有瀬遺跡等の火山の噴出物により埋没した遺跡においても一定の成果が挙げられている。これらの探査では、当時の地表面と火山噴出物に由来する堆積物の性質が大きく異なるために良好な反射が得られることや、特殊な埋没状況により遺構が非破壊で残存するため、レーダー探査が有効であることが分かっている。探査と発掘調査を並行して行うことができれば、双方の観点から遺構について検討でき、より詳細な解釈が可能となる。

測定には電磁波を送受信するアンテナを使用する。アンテナの周波数が低い程、分解能は低下し、探査深度が深くなる。一方、アンテナの周波数が高い程、分解能は高くなり、探査深度が浅くなる。一般的な土質地盤では、 $200 \mathrm{MHz}$ アンテナの場合は探査深度は約 $2 \sim 3 \mathrm{m}$ 、 $400 \mathrm{MHz}$ アンテナの場合は探査深度は約 $1 \mathrm{m}$ である(沖縄県教育委員会・社団法人物理探査学会2004)。今回は、測線上を一定速度で移動させながら測定するプロファイル測定を採用し、GSSI社(アメリカ)製の測定装置及び $400 \mathrm{MHz}$ アンテナを使用した。

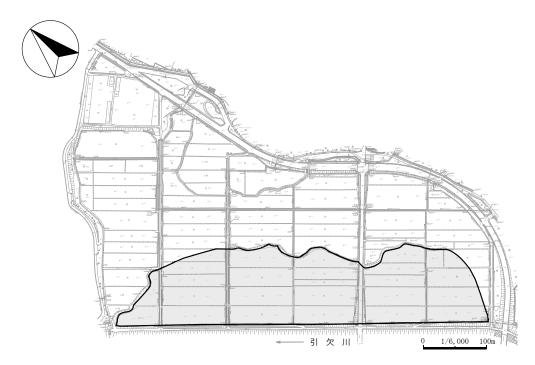
調査区は遺跡北東側の3か所とし、確認調査時に建物跡が検出されたトレンチ及び建物跡周辺にかかる906㎡の範囲に設定した。本来、調査区は平面直角座標系に準じた基準杭を設定することが望ましいが、遺跡周辺は旧水田で地形に即して北西から南東方向の長方形に区画されており、確認調査時のトレンチも区画に沿って設定されているため、今回の調査区もこの区画方向に沿って設定した。調査区1は17m×18mの306㎡で、埋め戻された竪穴建物跡4棟が検出された第2トレンチ北東部を含む。調査区2は20m×15mの300㎡で、屋根痕跡の残る伏屋形式の竪穴建物跡1棟(SI01)が検出された第4トレンチ南西部を含む。調査区3は15m×20mの300㎡で、屋根痕跡の残る伏屋形式の竪穴建物跡1棟(SI03)が検出された第4トレンチ北東部を含む。各調査区の四隅の杭はGPS測定により座標を測定した。以上の方法及び調査区で、レーダー探査を実施した。データは現在解析中であるが、調査地3では確認調査で検出されたSI03の床面や傾斜した屋根と思われる反応がみられ、本遺跡においてレーダー探査が有効であることが判明した。詳細な成果は、解析終了後に報告する。

参考文献

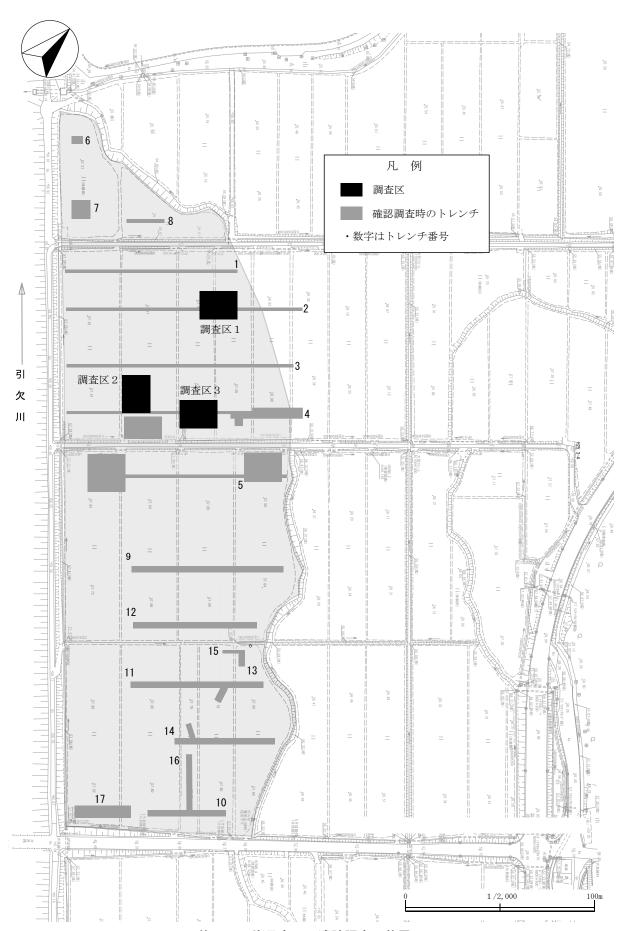
秋田県教育委員会『遺跡詳細分布調査報告書』秋田県文化財調査報告書第502集 2016 (平成28) 年 秋田県教育委員会『遺跡詳細分布調査報告書』秋田県文化財調査報告書第507集 2017 (平成29) 年 沖縄県教育委員会・社団法人物理探査学会 『物理探査を利用した埋蔵文化財広域発掘調査手法-物理探査実施マニュアルおよび解説-』 平成15年文化庁支出委任埋蔵文化財広域発掘手法検討調査事業報告書 2004 (平成16) 年



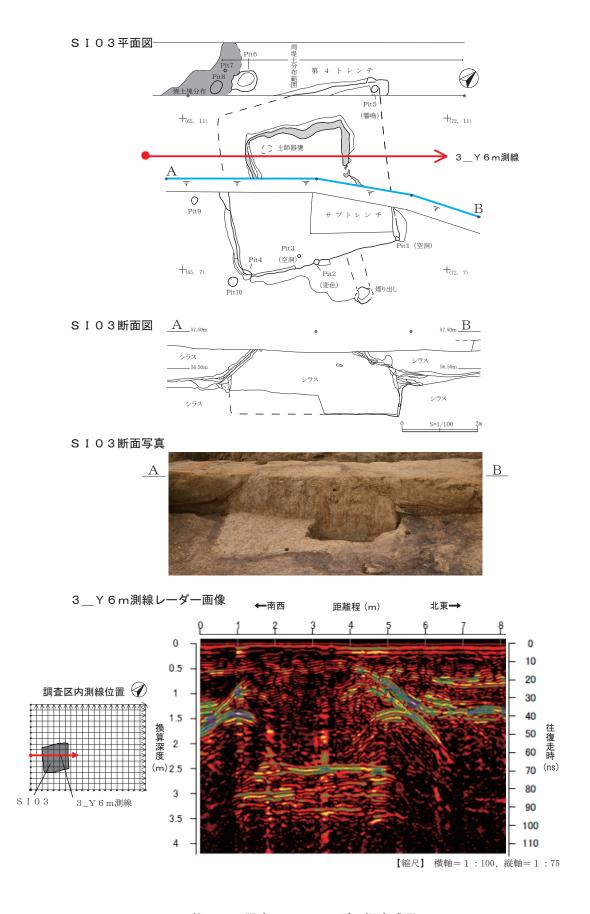
第77図 片貝家ノ下遺跡位置図



第78図 片貝家ノ下遺跡推定範囲図



第79図 片貝家ノ下遺跡調査区位置図



第80図 調査区3 レーダー探査成果図



遺跡全景
 (上空 西から)



 探査状況遠景 (東から)



3. 探査状況近景 (南から)

報告書抄録

ふりがな	ひせき いせき	しょうさい、	ぶんぷちょうこ	さほうこ	こくしょ					
書名	3 遺跡詳	細分布調査	報告書							
副書名	<u> </u>									
巻	ا لم									
シリーズ名	3 秋田県	秋田県文化財調査報告書								
シリーズ番号	旁 第5119	第511集								
編著者名	3 秋田県	火田県教育庁生涯学習課文化財保護室 秋田県埋蔵文化財センター								
編集機関	秋田県	外田県埋蔵文化財センター								
所 在 均	也 〒014-0	0802 秋田	県大仙市払田	字牛嶋2	0 T	EL 0187-69	-3331			
発 行 機 閉	₹ 秋田県	教育委員会								
発行年月日	西暦20	18年3月								
ふりがな 所収遺跡名	ふ り か 所 在	ぶ な コー 地 市町		北緯。,,,,	東経。,,,,	調査期間	調査面積	調査原因		
オノ神遺跡	が 秋田県由 にようしとくだれ 在市徳沢 ノ神63-2	****** 05210	08 210-44-30	39° 26′ 23″	140° 08′ 08″	20170919 ~ 20170929	870㎡ (対象面積 6,200㎡)	河川改修工事(芋川)		
久	が 秋田県秋 せんしゅうめいと 千 秋 明祝 204ほか		19 201-1-217	39° 43′ 10″	140° 07' 18"	20171113 ~ 20171116	16.1㎡ (対象面積 11,600㎡)	県・市連携文化施設 整備事業		
上岩台遺跡	を たけん 秋田県にか	^{あざかみ} 字上 05214	11 214-37-25	39° 11′ 13″	139° 55′ 12″	20171025 ~ 20171107	320㎡ (対象面積 5,780㎡)	国道7号遊佐象潟道路事業		
がかいなった 片貝家ノ下 遺跡	*** たけんおお 秋田県大 *** ひ内町 *** いよきかた *** 比次 *** 大 *** 大 *** 「 *** 「 ** 「 * 「	見字 05204	13 204-12-54	40° 13' 17"	140° 33′ 05″	20171101 ~ 20171102	906㎡ (対象面積 39,000㎡)	大館工業団地開発事業		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な	遺構		主	な遺物	特記事項		
才ノ神遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴建物跡、 柱穴様ピット		溝跡、	縄文土器、石器、石製 品		縄文時代の複数の生 活面が遺存		
久保田城跡	城館跡	が 近世 柱穴様ピット、性格 遺構			不明	陶磁器、瓦	ī.	整地地業の痕跡を確 認		
上岩台遺跡	散布地 散布地 散布地	縄文時代 古代 近世				石器 土師器 陶磁器		確認調査範囲内は本 調査の必要なし		
片貝家ノ下遺跡	集落跡	平安時代	竪穴建物跡、性格不明遺 構					十和田火山による泥 流に埋まった平安時 代の集落跡		
要約	た。その	結果、才ノ	神遺跡、久保	田城跡	につい	ては本調査を)遺跡確認調査を行っ した。片貝家ノ下遺跡 された。		

秋田県文化財調査報告書第511集

遺跡詳細分布調査報告書

印刷·発行 平成30年3月

編 集 秋田県埋蔵文化財センター

〒014-0802 大仙市払田字牛嶋20番地

電話 (0187) 69-3331 FAX (0187) 69-3330

発 行 秋田県教育委員会

〒010-8580 秋田市山王三丁目1番1号

電話 (018) 860-5193

